

令和6年度 栃木県子どもモニター 第1回アンケート結果

調査実施の概要

1. 栃木県子どもモニターってなに

栃木県は、子どもに関する施策を考えて実現するため、子どもや若者、保護者の意見やアイデアを継続的に集め、政策に取り入れることを目的として「栃木県子どもモニター」を募集します。

モニターのみなさんには、栃木県についてのアンケートから意見を収集し、これからの栃木県の施策やルール作りにつなげていきます。

2. 第1回アンケート期間

令和6年7月9日（火曜日）から8月5日（月曜日）

3. アンケート方法

アンケート対象者にメールで回答URLを送付、WEBサイトを通じてアンケートに回答。

4. モニター数

1,000名

5. 第1回アンケート回答者数

869名

6. 第1回アンケート回答率

86.9%

7. 作成日

2024年8月19日

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがあります。

※ 「その他」を選択した場合の自由記述欄は、基本的には原文のまま掲載しています。

※ n（number of cases）は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示しています。

※ 高校生～22才の区分については、テキスト表記の関係上、「高校若者」「高校・若者」で表記しています。

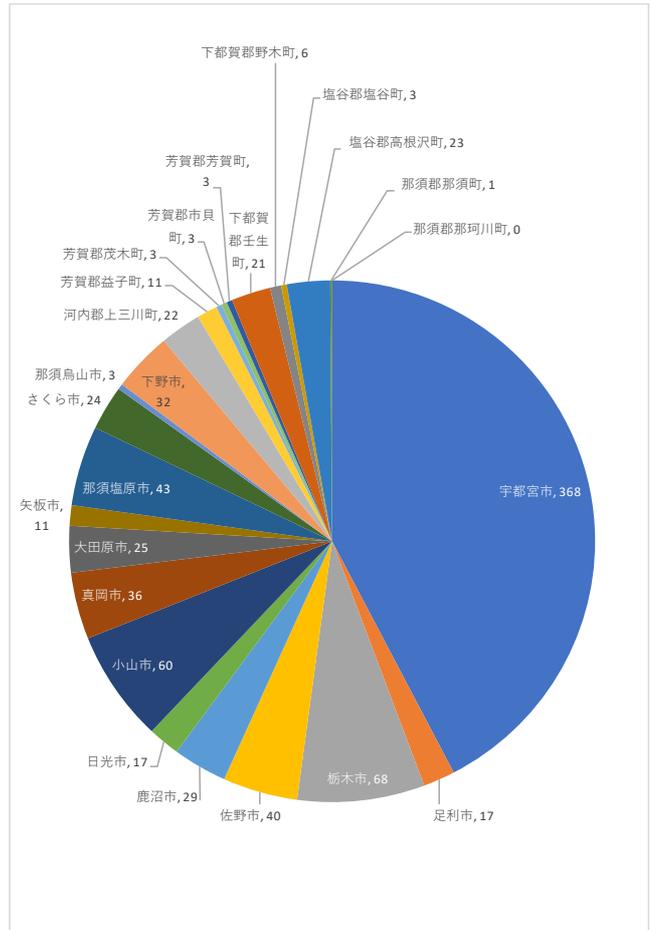
【モニター対象者に対する回答率（性別・学年、年齢別）】

		モニター対象人数	回答			
			人数	割合	率	
性別	男性（男の子）	334	296	34.1%	88.6%	
	女性（女の子）	661	570	65.6%	86.2%	
	答えたくない	5	3	0.3%	60.0%	
学年・年齢別	小学生	小学1年生	65	60	16.8%	92.3%
		小学2年生	73	64	17.9%	87.7%
		小学3年生	67	60	16.8%	89.6%
		小学4年生	75	69	19.3%	92.0%
		小学5年生	67	60	16.8%	89.6%
		小学6年生	48	44	12.3%	91.7%
		合計	395	357	-	90.4%
	中学生	中学1年生	69	63	43.4%	91.3%
		中学2年生	59	53	36.6%	89.8%
		中学3年生	35	29	20.0%	82.9%
		合計	163	145	-	89.0%
	高校生・若者	高校1年生	27	24	19.4%	88.9%
		高校2年生	94	50	40.3%	53.2%
		高校3年生	12	12	9.7%	100.0%
		16才	2	1	0.8%	50.0%
		17才	2	0	0.0%	0.0%
		18才	5	3	2.4%	60.0%
		19才	11	10	8.1%	90.9%
		20才	17	10	8.1%	58.8%
		21才	13	12	9.7%	92.3%
		22才	2	2	1.6%	100.0%
	合計	185	124	-	67.0%	
	保護者	10代	0	0	0.0%	0.0%
20代		15	14	5.8%	93.3%	
30代		111	105	43.2%	94.6%	
40代		97	93	38.3%	95.9%	
50代		34	31	12.8%	91.2%	
60代		0	0	0.0%	0.0%	
70代以上		0	0	0.0%	0.0%	
合計	257	243	-	94.6%		
全区分合計		1000	869	100.0%	86.9%	

【居住地域別回答数】

上段：回答数、下段：構成比

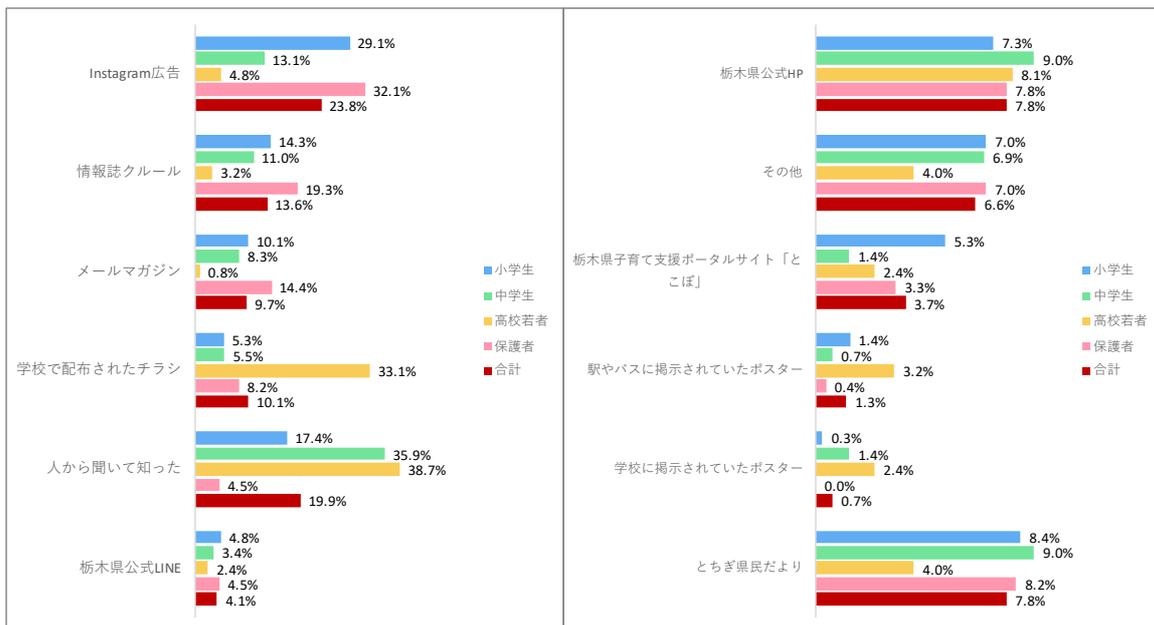
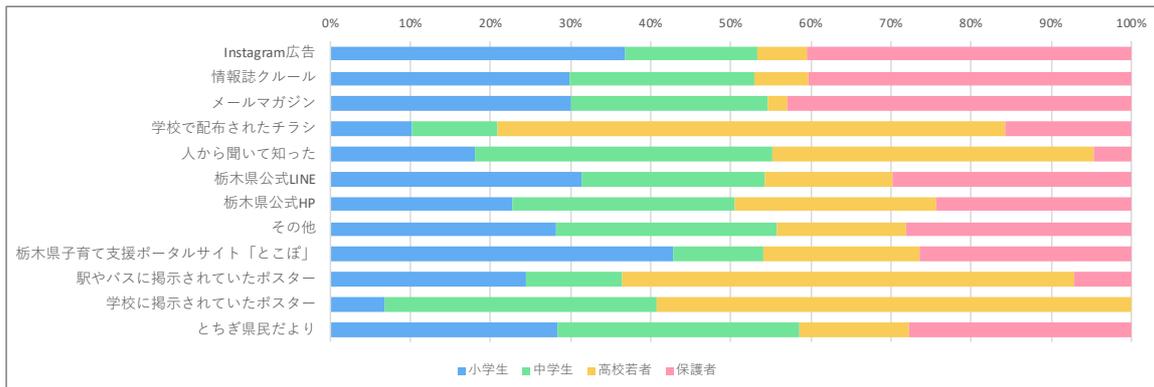
市町	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
宇都宮市	153 42.9%	60 41.4%	53 42.7%	102 42.0%	368 42.2%
足利市	7 2.0%	4 2.8%	3 2.4%	3 1.2%	17 2.0%
栃木市	20 5.6%	12 8.3%	16 12.9%	20 8.2%	68 7.8%
佐野市	21 5.9%	5 3.4%	3 2.4%	11 4.5%	40 4.6%
鹿沼市	12 3.4%	6 4.1%	8 6.5%	3 1.2%	29 3.3%
日光市	7 2.0%	5 3.4%	0 0.0%	5 2.1%	17 2.0%
小山市	28 7.8%	10 6.9%	11 8.9%	11 4.5%	60 6.9%
真岡市	17 4.8%	7 4.8%	1 0.8%	11 4.5%	36 4.1%
大田原市	10 2.8%	3 2.1%	4 3.2%	8 3.3%	25 2.9%
矢板市	2 0.6%	2 1.4%	0 0.0%	7 2.9%	11 1.3%
那須塩原市	14 3.9%	8 5.5%	6 4.8%	15 6.2%	43 4.9%
さくら市	10 2.8%	3 2.1%	3 2.4%	8 3.3%	24 2.8%
那須烏山市	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	3 0.3%
下野市	14 3.9%	5 3.4%	4 3.2%	9 3.7%	32 3.7%
河内郡上三川町	8 2.2%	3 2.1%	5 4.0%	6 2.5%	22 2.5%
芳賀郡益子町	5 1.4%	3 2.1%	1 0.8%	2 0.8%	11 1.3%
芳賀郡茂木町	1 0.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	3 0.3%
芳賀郡市貝町	1 0.3%	0 0.0%	1 0.8%	1 0.4%	3 0.3%
芳賀郡芳賀町	1 0.3%	1 0.7%	1 0.8%	0 0.0%	3 0.3%
下都賀郡壬生町	10 2.8%	3 2.1%	0 0.0%	8 3.3%	21 2.4%
下都賀郡野木町	4 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.8%	6 0.7%
塩谷郡塩谷町	2 0.6%	0 0.0%	1 0.8%	0 0.0%	3 0.3%
塩谷郡高根沢町	9 2.5%	4 2.8%	3 2.4%	7 2.9%	23 2.6%
那須郡那須町	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%
那須郡那珂川町	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
n：回答者数	357	145	124	243	869



【ツール別回答数】設問/「栃木県子どもモニター」をどこで知りましたか？

上段：回答数、下段：構成比

ツール	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
Instagram広告	104 29.1%	19 13.1%	6 4.8%	78 32.1%	207 23.8%
情報誌クルール	51 14.3%	16 11.0%	4 3.2%	47 19.3%	118 13.6%
メールマガジン	36 10.1%	12 8.3%	1 0.8%	35 14.4%	84 9.7%
学校で配布されたチラシ	19 5.3%	8 5.5%	41 33.1%	20 8.2%	88 10.1%
人から聞いて知った	62 17.4%	52 35.9%	48 38.7%	11 4.5%	173 19.9%
栃木県公式LINE	17 4.8%	5 3.4%	3 2.4%	11 4.5%	36 4.1%
栃木県公式HP	26 7.3%	13 9.0%	10 8.1%	19 7.8%	68 7.8%
その他	25 7.0%	10 6.9%	5 4.0%	17 7.0%	57 6.6%
栃木県子育て支援ポータルサイト「とこぼ」	19 5.3%	2 1.4%	3 2.4%	8 3.3%	32 3.7%
駅やバスに掲示されていたポスター	5 1.4%	1 0.7%	4 3.2%	1 0.4%	11 1.3%
学校に掲示されていたポスター	1 0.3%	2 1.4%	3 2.4%	0 0.0%	6 0.7%
とちぎ県民だより	30 8.4%	13 9.0%	5 4.0%	20 8.2%	68 7.8%
n：回答者数	357	145	124	243	869

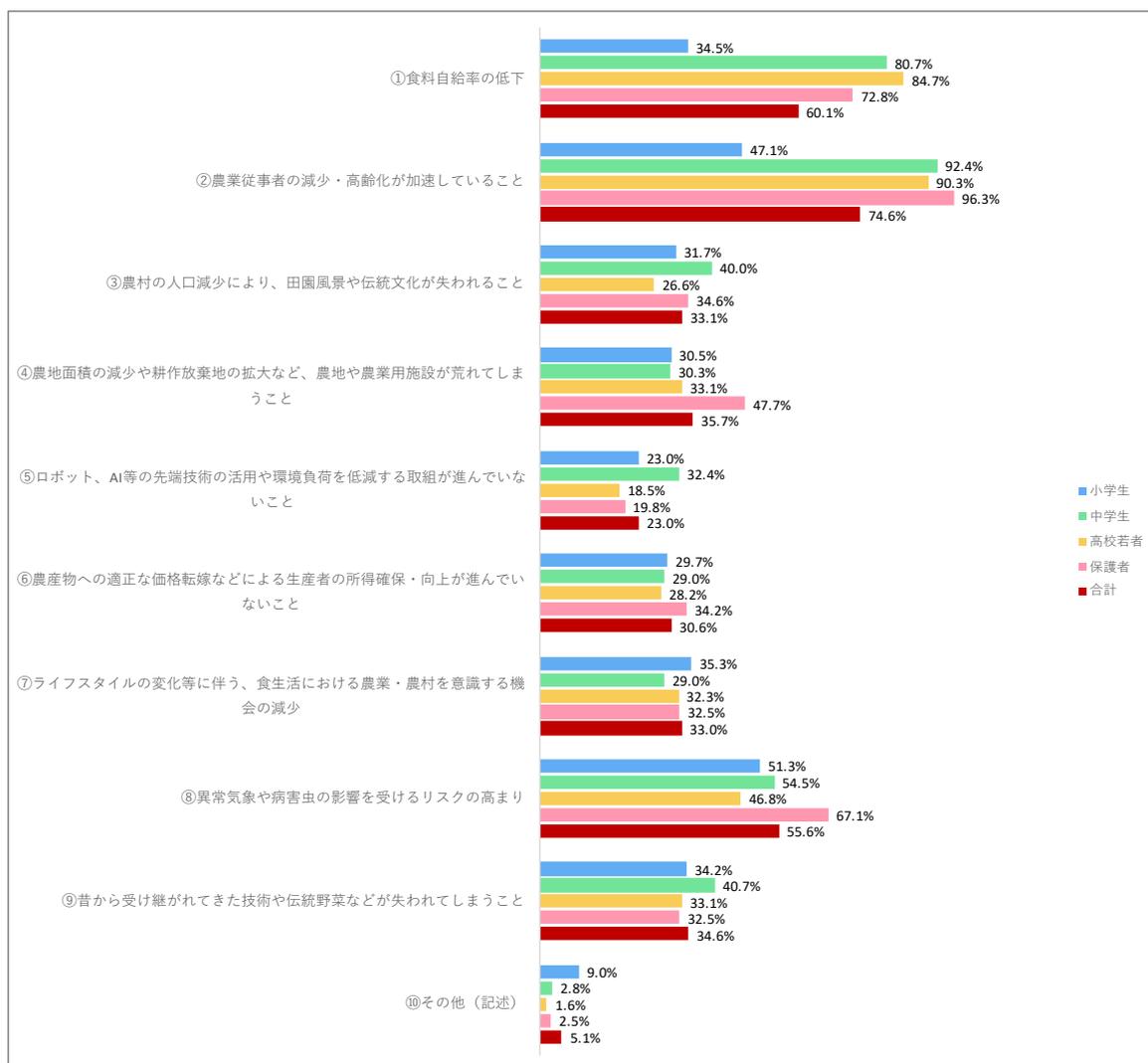


Q1. 「いまの農業を取りまく課題」のなかで、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①食料自給率の低下	123 34.5%	117 80.7%	105 84.7%	177 72.8%	522 60.1%
②農業従事者の減少・高齢化が加速していること	168 47.1%	134 92.4%	112 90.3%	234 96.3%	648 74.6%
③農村の人口減少により、田園風景や伝統文化が失われること	113 31.7%	58 40.0%	33 26.6%	84 34.6%	288 33.1%
④農地面積の減少や耕作放棄地の拡大など、農地や農業用施設が荒れてしまうこと	109 30.5%	44 30.3%	41 33.1%	116 47.7%	310 35.7%
⑤ロボット、AI等の先端技術の活用や環境負荷を低減する取組が進んでいないこと	82 23.0%	47 32.4%	23 18.5%	48 19.8%	200 23.0%
⑥農産物への適正な価格転嫁などによる生産者の所得確保・向上が進んでいないこと	106 29.7%	42 29.0%	35 28.2%	83 34.2%	266 30.6%
⑦ライフスタイルの変化等に伴う、食生活における農業・農村を意識する機会の減少	126 35.3%	42 29.0%	40 32.3%	79 32.5%	287 33.0%
⑧異常気象や病害虫の影響を受けるリスクの高まり	183 51.3%	79 54.5%	58 46.8%	163 67.1%	483 55.6%
⑨昔から受け継がれてきた技術や伝統野菜などが失われてしまうこと	122 34.2%	59 40.7%	41 33.1%	79 32.5%	301 34.6%
⑩その他（記述）	32 9.0%	4 2.8%	2 1.6%	6 2.5%	44 5.1%
n：回答者数	357	145	124	243	869

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q1.その他（記述）

【小学生】

- ・わかいひとが、のうぎょうをしなくなってこまっています。
- ・野菜を残す人が多いこと
- ・最近天気は安定しないので、野菜の成長具合が規格外のものばかりになり、出荷が安定しない。
- ・ロボットを使った取り組みが進んでいないという選択肢があったけど、私は逆に先端技術が進んでいると思っていました。
- ・お父さんが仕事で農家によく行きます。お米が高くなっちゃうとっていました。
- ・地産地消を進めなければならない
- ・スーパーなどの小売店に、余分な量売ってしまい、食品ロスになってしまう問題。
- ・たんぼだったところが、家になったり、太陽光パネルになったりして、米を作らなくなっている
- ・わからない、しらない、りかいできない など 23件

【中学生】

- ・猿や猪などの野生動物が、人のいる村や街に降りて来てしまうこと
- ・知らない
- ・日本の作物の種が減少していくこと。
- ・暑さにより、作物が十分に育たない事。など

【高校若者】

- ・TPPの関税撤廃による海外産作物の流入と市場価格競争の激化
- ・今、大学の農学部で学んでいます

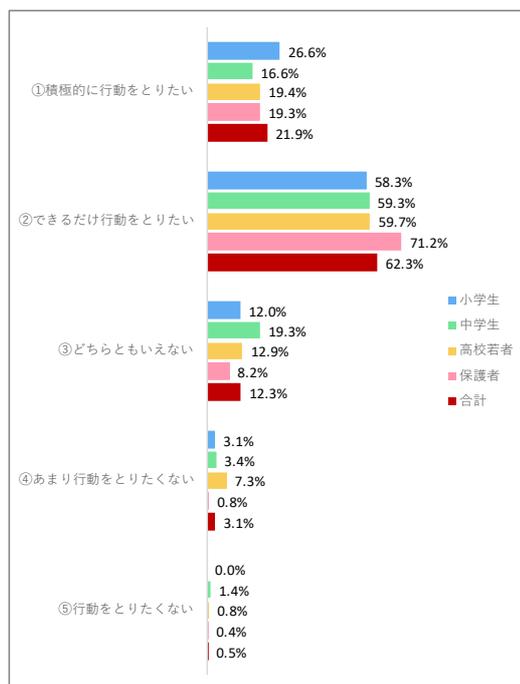
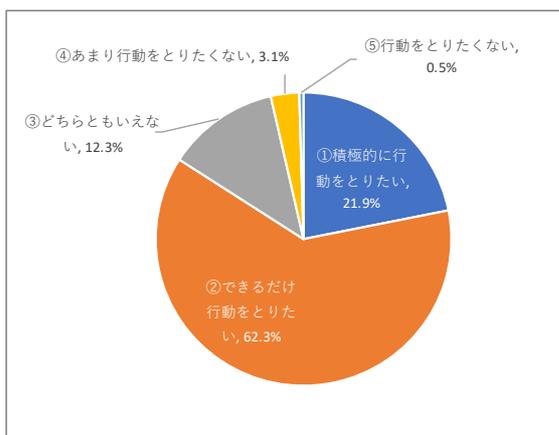
【保護者】

- ・売上より経費が多いこと。
- ・あまり関心がなくそこまで気にしていなかった
- ・地のもを食べられないこと農薬使用を前提に農業を行わなくてはならないシステムを構築していること
- ・気候が変わって旬の時期がずれたり育たなくなったり高くなったりしていること
- ・農薬や肥料の高騰化学肥料の使い過ぎによる環境問題
- ・国外輸出がすすまないこと・外国に優良な作物の種が盗まれること・作物の盗難

Q2.あなたは「自分も栃木県の農業を応援する行動をとりたい」と思いますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①積極的に行動をとりたい	95 26.6%	24 16.6%	24 19.4%	47 19.3%	190 21.9%
②できるだけ行動をとりたい	208 58.3%	86 59.3%	74 59.7%	173 71.2%	541 62.3%
③どちらともいえない	43 12.0%	28 19.3%	16 12.9%	20 8.2%	107 12.3%
④あまり行動をとりたくない	11 3.1%	5 3.4%	9 7.3%	2 0.8%	27 3.1%
⑤行動をとりたくない	0 0.0%	2 1.4%	1 0.8%	1 0.4%	4 0.5%
n：回答者数	357	145	124	243	869

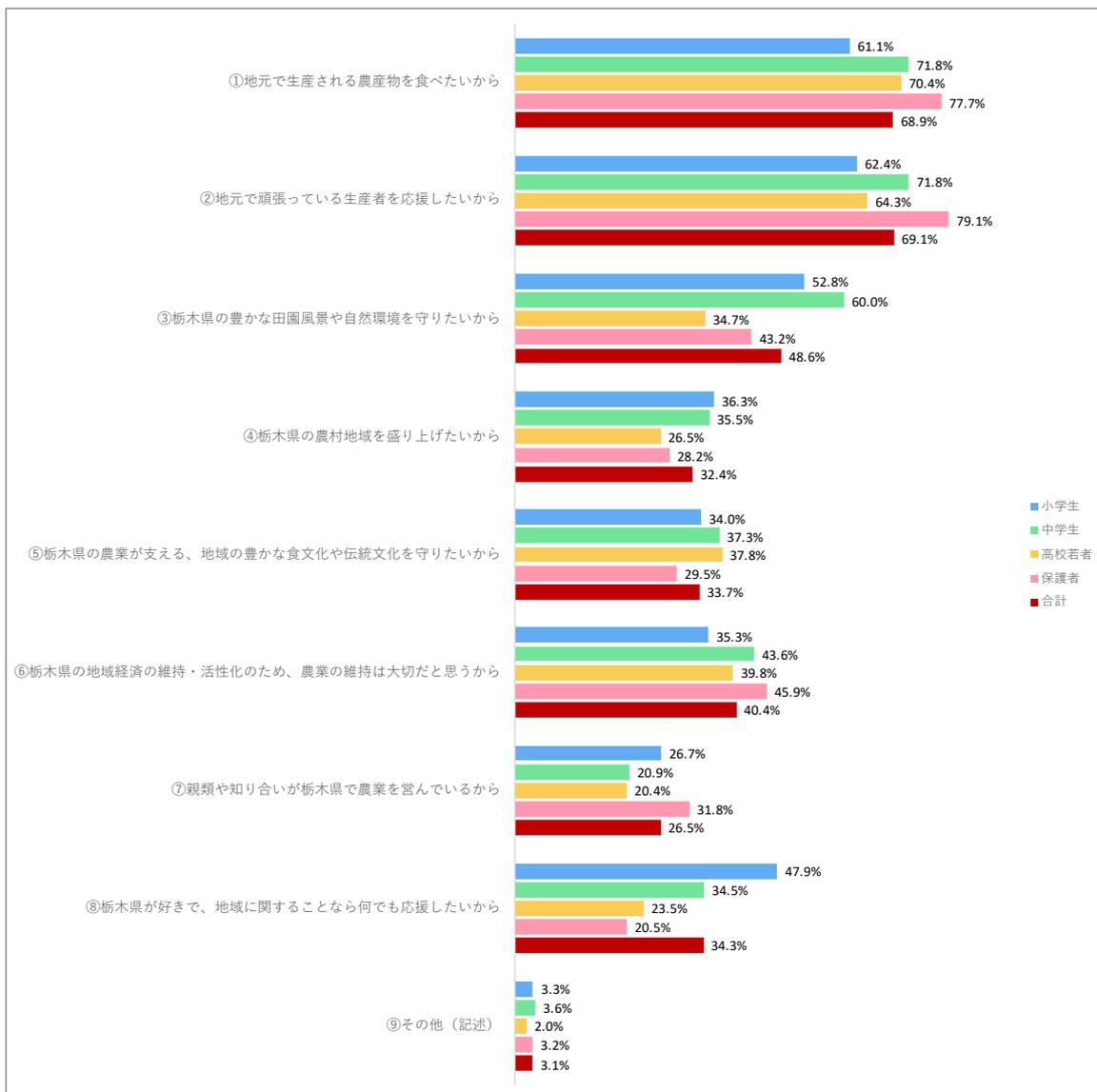


Q3. 「Q2」で「積極的に行動をとりたい」「できるだけ行動をとりたい」を選んだ方にお聞きします。そう思った理由を教えてください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①地元で生産される農産物を食べたいから	185 61.1%	79 71.8%	69 70.4%	171 77.7%	504 68.9%
②地元で頑張っている生産者を応援したいから	189 62.4%	79 71.8%	63 64.3%	174 79.1%	505 69.1%
③栃木県の豊かな田園風景や自然環境を守りたいから	160 52.8%	66 60.0%	34 34.7%	95 43.2%	355 48.6%
④栃木県の農村地域を盛り上げたいから	110 36.3%	39 35.5%	26 26.5%	62 28.2%	237 32.4%
⑤栃木県の農業が支える、地域の豊かな食文化や伝統文化を守りたいから	103 34.0%	41 37.3%	37 37.8%	65 29.5%	246 33.7%
⑥栃木県の地域経済の維持・活性化のため、農業の維持は大切だと思うから	107 35.3%	48 43.6%	39 39.8%	101 45.9%	295 40.4%
⑦親類や知り合いが栃木県で農業を営んでいるから	81 26.7%	23 20.9%	20 20.4%	70 31.8%	194 26.5%
⑧栃木県が好きで、地域に関することなら何でも応援したいから	145 47.9%	38 34.5%	23 23.5%	45 20.5%	251 34.3%
⑨その他（記述）	10 3.3%	4 3.6%	2 2.0%	7 3.2%	23 3.1%
n：回答者数	303	110	98	220	731

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q3.その他（記述）

【小学生】

- ・もてぎのきれいなしぜんややまを、みんなにみてもらいたい。です。
- ・もっとお米のお金を安くして、みんなが美味しく食べられるご飯になって欲しい
- ・身近な場所で、畑や田んぼがあり、作っている人がいるから。
- ・自分が体験した、また勉強したことを応援したいから。また、売る人、作る人ががんばっているから
- ・地球の環境を守りたいから。
- ・命のために、農産物が必要と思うから
- ・食べ物が無くなったら大変だから
- ・自分やみんなのために協力したい
- ・栃木県の農作物を他の国の人も食べて欲しいから
- ・栃木のイチゴや野菜がおいしいから
- ・栃木県の良さを他県にも広めたいから。

【中学生】

- ・AIを使用するの養殖や生育管理などに興味はあるから美味しいいちごや牛乳が好きだから、いつまでも美味しく食べたいです。
そのためなら、やっても良いと思う。、
- ・地球環境を守りたいから。
- ・美味しい物が食べたい
- ・いちご狩りをした時農家さんの対応に感動した。自分の家で育てたトマトが美味しかった。→県民にもその感動を伝えてあげたい。
- ・やってみたいのと色々な知識が増えると思うから

【高校若者】

- ・自分で就農や6次産業等に興味があるから
- ・栃木県の、農作物を食べるから、。

【保護者】

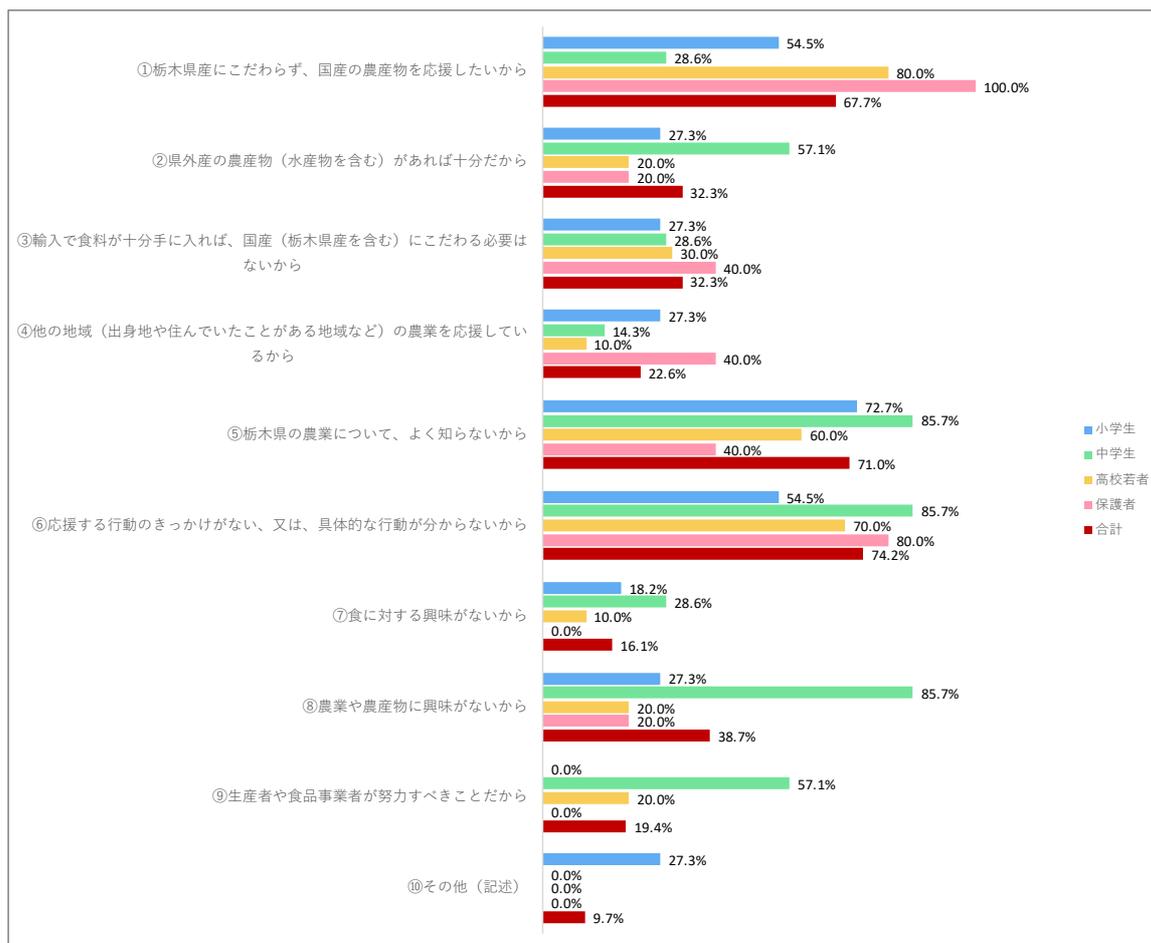
- ・自分も農家だから
- ・子供が将来の仕事で農業に興味、関心があるから。
- ・農薬や化学肥料が気になるから
- ・個人で取り組んでいらっしゃる方を支援したいと考えます
農薬を使用しなければ団体に入れなない仕組みがある中どの様に取り組んでいるのかまた妨げとなる要因について広めて行って欲しい
- ・栃木県にこだわらず頑張ってる農家の方を応援したい。
- ・これからずっと栃木に住む予定であるため何かしたい気持ちはあるが余力はない
- ・我が家も高齢の両親が農業を営んでおります。高齢化、価格の適正化など農業は課題がたくさんあります。
直ぐにでも取り組まなければならない事案なのに、動こうとしないことにモヤモヤしています。
栃木県だけでなく、全国規模で取り組む課題です。
- ・オーガニック給食に繋がられるよう、有機農家さんを応援したいから

Q4. 「Q2」で「あまり行動をとりたくない」「行動をとりたくない」を選んだ方にお聞きします。そう思った理由を教えてください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①栃木県産にこだわらず、国産の農産物を応援したいから	6 54.5%	2 28.6%	8 80.0%	5 100.0%	21 67.7%
②県外産の農産物（水産物を含む）があれば十分だから	3 27.3%	4 57.1%	2 20.0%	1 20.0%	10 32.3%
③輸入で食料が十分手に入れば、国産（栃木県産を含む）にこだわる必要はないから	3 27.3%	2 28.6%	3 30.0%	2 40.0%	10 32.3%
④他の地域（出身地や住んでいたことがある地域など）の農業を応援しているから	3 27.3%	1 14.3%	1 10.0%	2 40.0%	7 22.6%
⑤栃木県の農業について、よく知らないから	8 72.7%	6 85.7%	6 60.0%	2 40.0%	22 71.0%
⑥応援する行動のきっかけがない、又は、具体的な行動が分からないから	6 54.5%	6 85.7%	7 70.0%	4 80.0%	23 74.2%
⑦食に対する興味がないから	2 18.2%	2 28.6%	1 10.0%	0 0.0%	5 16.1%
⑧農業や農産物に興味がないから	3 27.3%	6 85.7%	2 20.0%	1 20.0%	12 38.7%
⑨生産者や食品事業者が努力すべきことだから	0 0.0%	4 57.1%	2 20.0%	0 0.0%	6 19.4%
⑩その他（記述）	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.7%
n：回答者数	11	7	10	5	31

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q4.その他（記述）

【小学生】

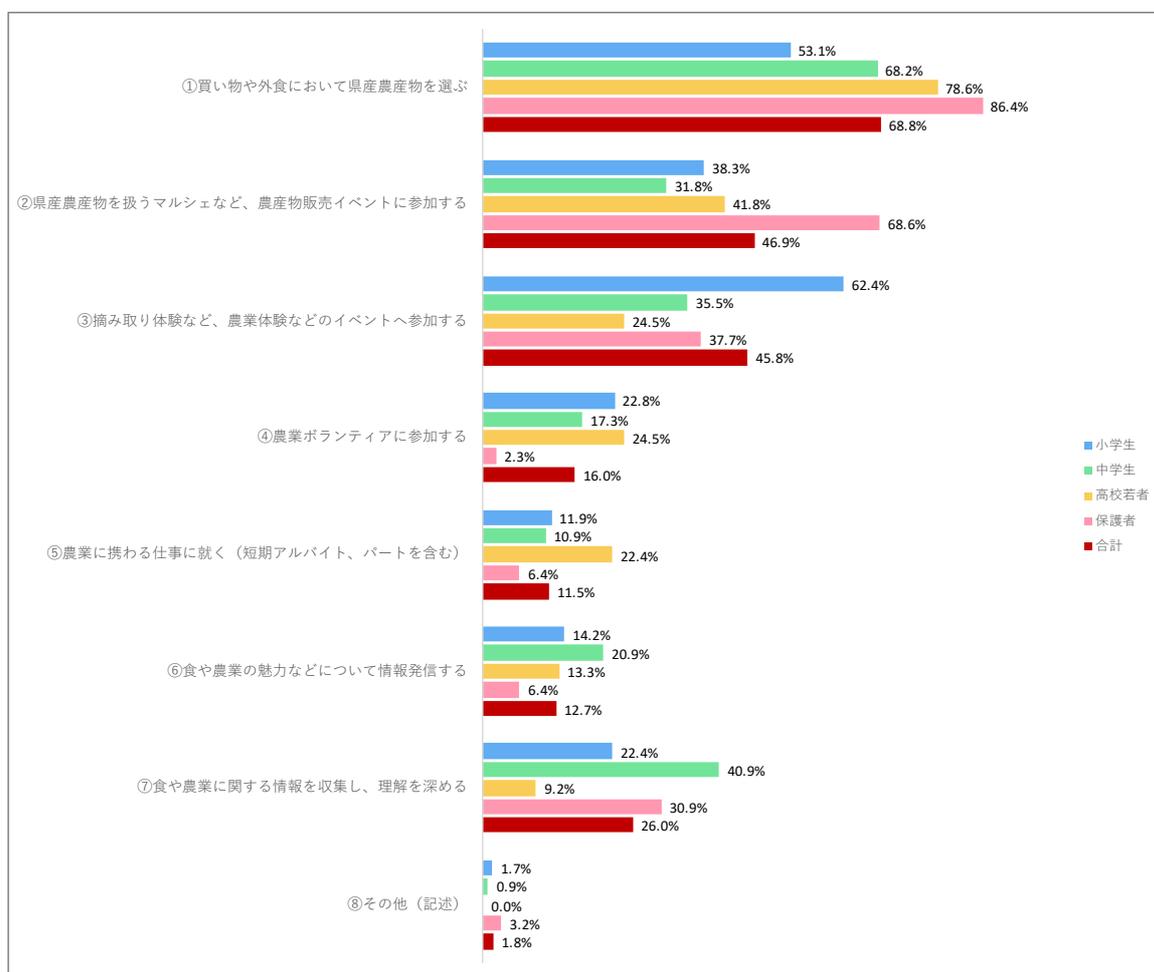
- ・「行動をとりたくない」というのも嫌だけど、行動をとるのも大変だから。あまり興味がないから。
- ・大変そう
- ・サッカーがすきだから

Q5. 「Q2」で「積極的に行動をとりたい」「できるだけ行動をとりたい」を選んだ方にお聞きします。どういった行動で応援したいと考えていますか。【3つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①買い物や外食において県産農産物を選ぶ	161 53.1%	75 68.2%	77 78.6%	190 86.4%	503 68.8%
②県産農産物を扱うマルシェなど、農産物販売イベントに参加する	116 38.3%	35 31.8%	41 41.8%	151 68.6%	343 46.9%
③摘み取り体験など、農業体験などのイベントへ参加する	189 62.4%	39 35.5%	24 24.5%	83 37.7%	335 45.8%
④農業ボランティアに参加する	69 22.8%	19 17.3%	24 24.5%	5 2.3%	117 16.0%
⑤農業に携わる仕事に就く（短期アルバイト、パートを含む）	36 11.9%	12 10.9%	22 22.4%	14 6.4%	84 11.5%
⑥食や農業の魅力などについて情報発信する	43 14.2%	23 20.9%	13 13.3%	14 6.4%	93 12.7%
⑦食や農業に関する情報を収集し、理解を深める	68 22.4%	45 40.9%	9 9.2%	68 30.9%	190 26.0%
⑧その他（記述）	5 1.7%	1 0.9%	0 0.0%	7 3.2%	13 1.8%
n：回答者数	303	110	98	220	731

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q5.その他（記述）

【小学生】

- ・残さず食べる
- ・特になし
- ・祖父母がニラ農家なので、その手伝いをする
- ・地産地消
- ・自分が、野菜などを沢山美味しく食べて友達にも好きになってもらう。
- ・クラウドファンディングやボランティアをして、資金を集めている農家さんに贈る。

【中学生】

- ・荒らされた農作物の土地などを、あるテレビ番組にし、視聴率もとりながらその土地を綺麗にしていく。
→そこで育てた農作物を給食や定食屋などに寄付する。
- ・食に関する興味深い情報を給食などの時間に紹介し、子供に農業について少しでも広める活動

【保護者】

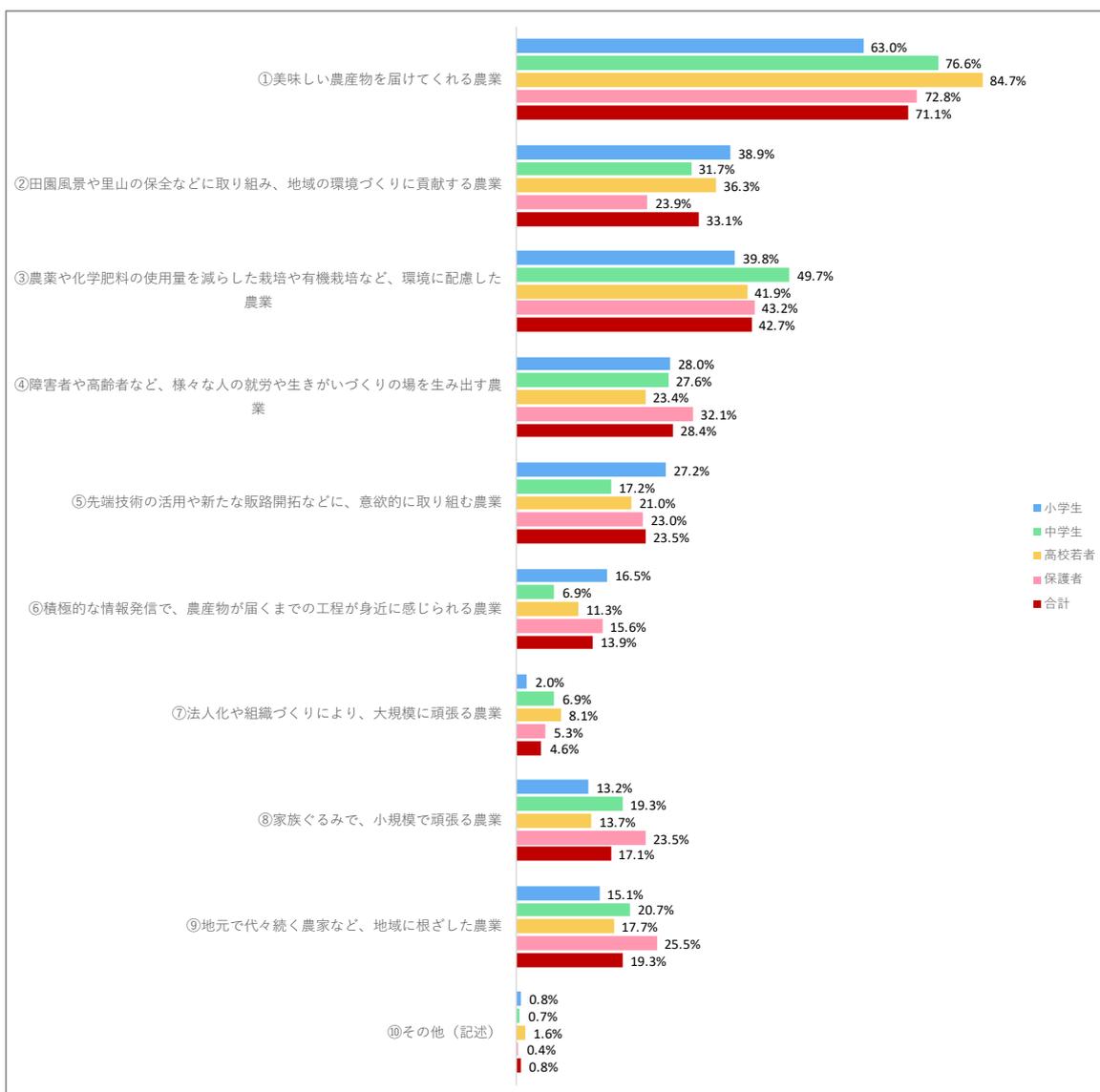
- ・県外の親戚や知人に贈答品を購入時には栃木県産果物、カンピョウ、お菓子など選び、美味しいと喜ばれています。
- ・野菜を買う際は、道の駅を利用する
- ・実家の農家の手伝いをする
- ・個人の農家で独自の栽培、販売形態を模索している方々を支援したい
- ・sns等で発信している農家さんから直接商品を購入。
- ・環境負荷のかからない農業のあり方を、周りの人にも知ってもらえるよう伝える学校でも学べるような環境作りを行政や各学校にお願い消費者の意識の変化に繋がるような情報発信
- ・農業関連の企業に投資

Q6.あなたが応援したいと思う農業は、どんな農業ですか。【3つまで選んでください。】

上段：回答数、下段：構成比

中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①美味しい農産物を届けてくれる農業	225 63.0%	111 76.6%	105 84.7%	177 72.8%	618 71.1%
②田園風景や里山の保全などに取り組み、地域の環境づくりに貢献する農業	139 38.9%	46 31.7%	45 36.3%	58 23.9%	288 33.1%
③農薬や化学肥料の使用量を減らした栽培や有機栽培など、環境に配慮した農業	142 39.8%	72 49.7%	52 41.9%	105 43.2%	371 42.7%
④障害者や高齢者など、様々な人の就労や生きがいがいづくりの場を生み出す農業	100 28.0%	40 27.6%	29 23.4%	78 32.1%	247 28.4%
⑤先端技術の活用や新たな販路開拓などに、意欲的に取り組む農業	97 27.2%	25 17.2%	26 21.0%	56 23.0%	204 23.5%
⑥積極的な情報発信で、農産物が届くまでの工程が身近に感じられる農業	59 16.5%	10 6.9%	14 11.3%	38 15.6%	121 13.9%
⑦法人化や組織づくりにより、大規模に頑張る農業	7 2.0%	10 6.9%	10 8.1%	13 5.3%	40 4.6%
⑧家族ぐるみで、小規模で頑張る農業	47 13.2%	28 19.3%	17 13.7%	57 23.5%	149 17.1%
⑨地元で代々続く農家など、地域に根ざした農業	54 15.1%	30 20.7%	22 17.7%	62 25.5%	168 19.3%
⑩その他（記述）	3 0.8%	1 0.7%	2 1.6%	1 0.4%	7 0.8%
n：回答者数	357	145	124	243	869

※小学生向けには、同趣旨でわかりやすい表現の設問としています。



Q6.その他（記述）

【小学生】

- ・とうもろこし、小麦、茶畑
- ・お母さんが野菜が高いと言っていたので、高くない野菜を作ってくれる人を応援したいです。
- ・小麦をたくさんつくってほしい小麦がへってるから

【中学生】

- ・農作物を作ってくださいる農家の方達に感謝として、欲しいもの(農家に関係のあるもの)を贈呈する。など

【高校若者】

- ・特産物の価格が優しい（低い）農業
- ・伝統的な作物を継承する農家さん

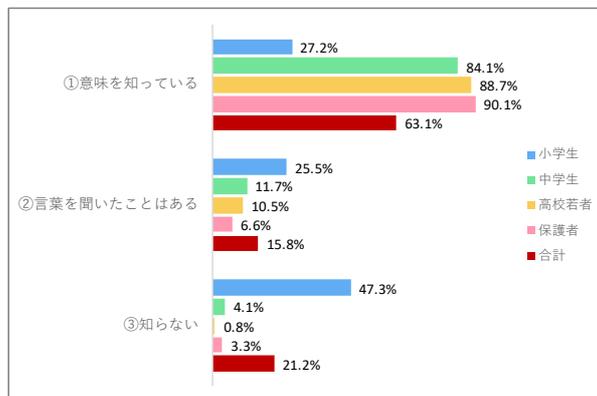
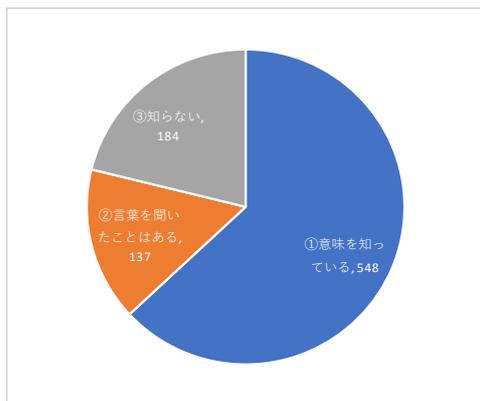
【保護者】

- ・地元の子供達の給食へ使ってもらえるような、安心な農産物を育てる農業生産者さんから給食へ、そして子供達から大人へ、未来の農業者が増えるような食育活動も兼ねた農業

Q7. 「地産地消」という言葉の意味を知っていますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

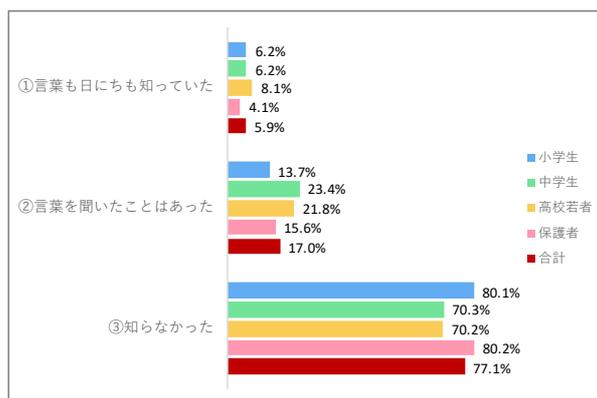
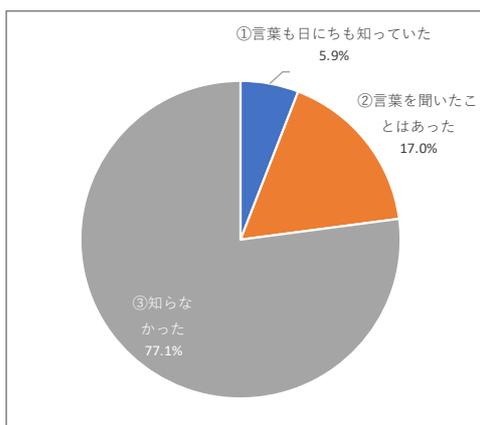
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①意味を知っている	97 27.2%	122 84.1%	110 88.7%	219 90.1%	548 63.1%
②言葉を聞いたことはある	91 25.5%	17 11.7%	13 10.5%	16 6.6%	137 15.8%
③知らない	169 47.3%	6 4.1%	1 0.8%	8 3.3%	184 21.2%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q8. 栃木県は、毎月18日を「とちぎ地産地消の日」としています。そのことを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

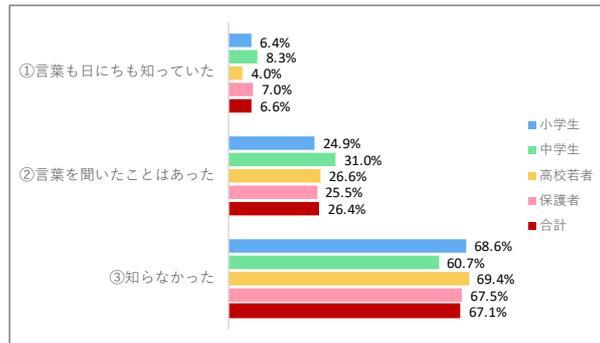
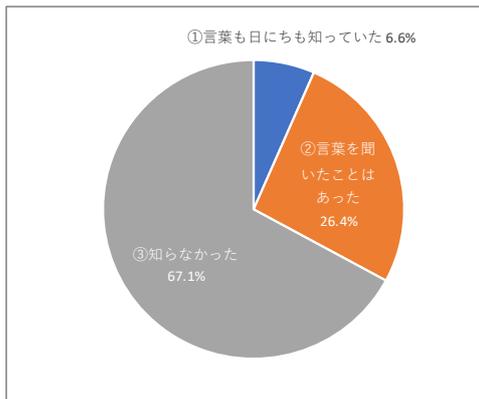
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①言葉も日にちも知っていた	22 6.2%	9 6.2%	10 8.1%	10 4.1%	51 5.9%
②言葉を聞いたことはあった	49 13.7%	34 23.4%	27 21.8%	38 15.6%	148 17.0%
③知らなかった	286 80.1%	102 70.3%	87 70.2%	195 80.2%	670 77.1%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q9.内閣府は、毎月19日を「食育の日」としています。そのことを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

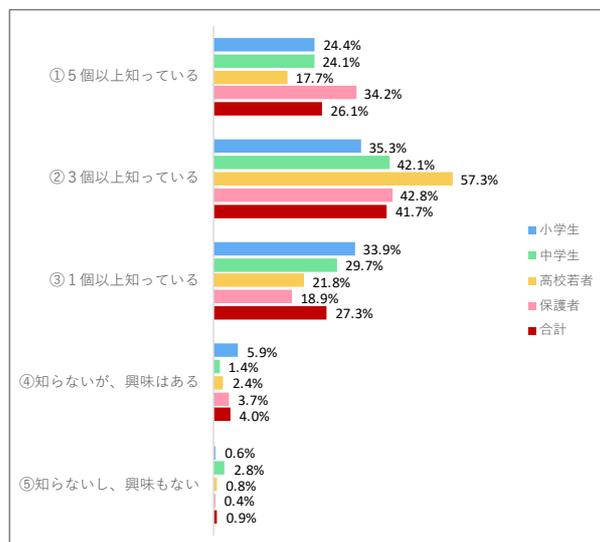
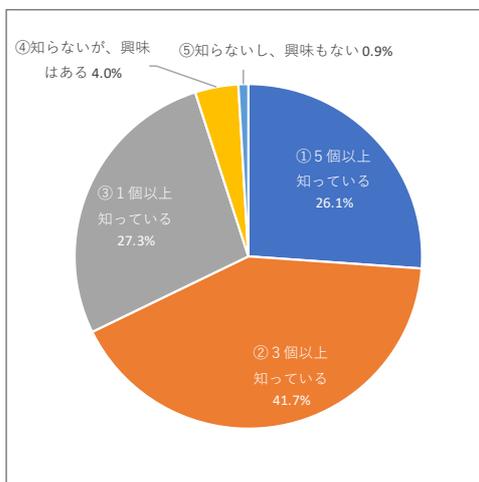
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①言葉も日にちも知っていた	23 6.4%	12 8.3%	5 4.0%	17 7.0%	57 6.6%
②言葉を聞いたことはあった	89 24.9%	45 31.0%	33 26.6%	62 25.5%	229 26.4%
③知らなかった	245 68.6%	88 60.7%	86 69.4%	164 67.5%	583 67.1%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q10.あなたが住んでいる地域で生産されている、主な農産物をいくつ知っていますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

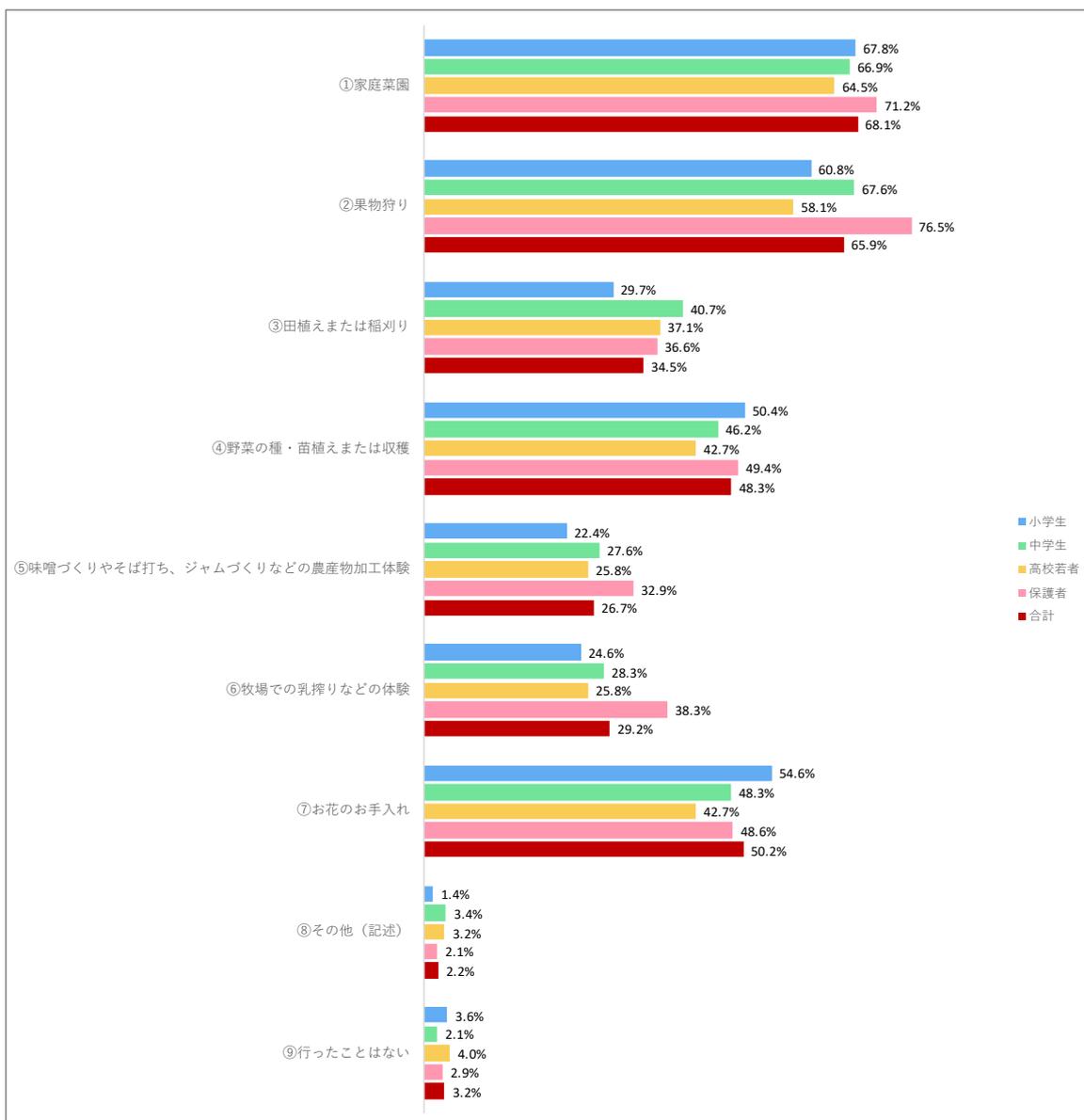
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①5個以上知っている	87 24.4%	35 24.1%	22 17.7%	83 34.2%	227 26.1%
②3個以上知っている	126 35.3%	61 42.1%	71 57.3%	104 42.8%	362 41.7%
③1個以上知っている	121 33.9%	43 29.7%	27 21.8%	46 18.9%	237 27.3%
④知らないが、興味はある	21 5.9%	2 1.4%	3 2.4%	9 3.7%	35 4.0%
⑤知らないし、興味もない	2 0.6%	4 2.8%	1 0.8%	1 0.4%	8 0.9%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q11.学校以外で、農業についての体験をしたことがありますか。次のうち行ったことがあるものを選んでください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①家庭菜園	242 67.8%	97 66.9%	80 64.5%	173 71.2%	592 68.1%
②果物狩り	217 60.8%	98 67.6%	72 58.1%	186 76.5%	573 65.9%
③田植えまたは稲刈り	106 29.7%	59 40.7%	46 37.1%	89 36.6%	300 34.5%
④野菜の種・苗植えまたは収穫	180 50.4%	67 46.2%	53 42.7%	120 49.4%	420 48.3%
⑤味噌づくりやそば打ち、ジャムづくりなどの農産物加工体験	80 22.4%	40 27.6%	32 25.8%	80 32.9%	232 26.7%
⑥牧場での乳搾りなどの体験	88 24.6%	41 28.3%	32 25.8%	93 38.3%	254 29.2%
⑦お花のお手入れ	195 54.6%	70 48.3%	53 42.7%	118 48.6%	436 50.2%
⑧その他（記述）	5 1.4%	5 3.4%	4 3.2%	5 2.1%	19 2.2%
⑨行ったことはない	13 3.6%	3 2.1%	5 4.0%	7 2.9%	28 3.2%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q11.その他（記述）

【小学生】

- ・くさとりをしました。
- ・ハウス内を片付ける直前のいちご屋さんに残っているいちごを収穫に行った。ハウス内は暑いし屈みながらの収穫は大変なんだなと思った。
- ・麦刈・麦の種蒔・麦踏みなど
- ・お芋ほり
- ・無農薬でお米と大豆を栽培して、それで味噌作りを毎年しています。

【中学生】

- ・干瓢（ふくべ）の皮むき
- ・バター作り
- ・たけのご掘り
- ・おじいちゃんと収穫体験

【高校若者】

- ・祖父母の家で体験した
- ・芋ほり
- ・藍の収穫
- ・家がいちご農家でその手伝いをしているので経験がある

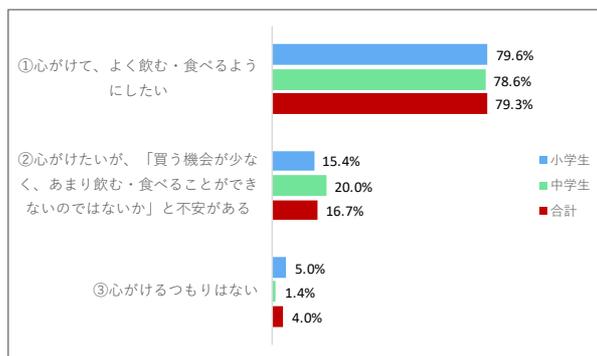
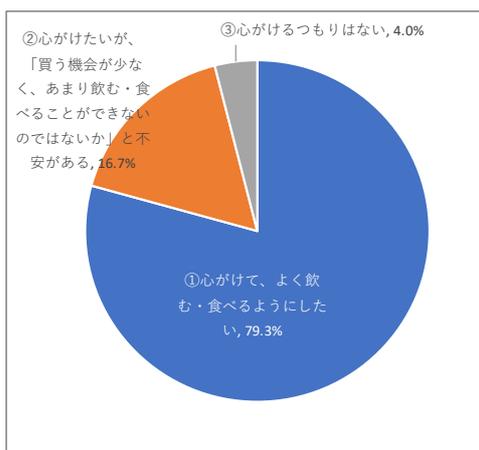
【保護者】

- ・親戚 農業 手伝い
- ・お味噌だけでなく塩こうじやヨーグルト、ラッキョウ漬けなどを家でつくる。できれば子供たちにも手伝ってもらって一緒に作る。
- ・農家でパートしている
- ・親戚の畑での手伝い

Q12. (小学生・中学生) 「日本人は、特に義務教育(小・中学校)を終えた年代から、カルシウムをとる量が足りていない」という調査結果があります。牛乳・乳製品は、カルシウムを効率的にとることのできる食品ですが、あなたは義務教育を終えた後も、牛乳・乳製品を飲む・食べるように心がけたいですか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

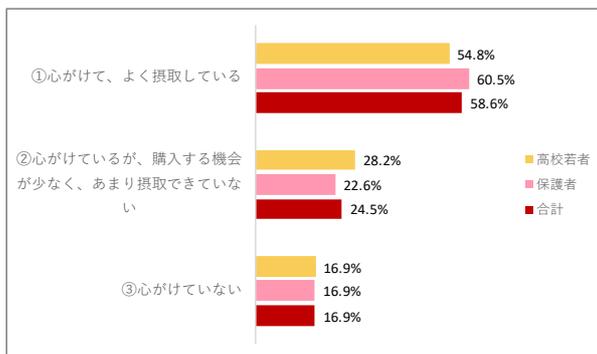
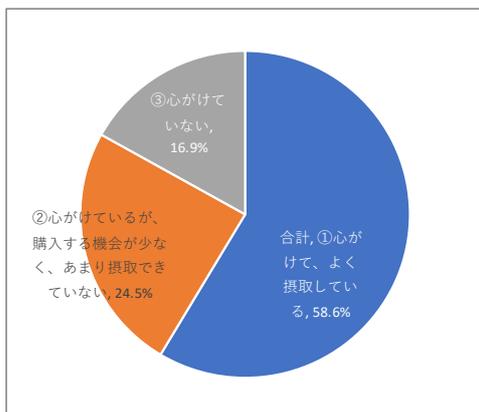
小学生・中学生への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①心がけて、よく飲む・食べるようにしたい	284 79.6%	114 78.6%	-	-	398 79.3%
②心がけたいが、「買う機会が少なく、あまり飲む・食べることができないのではないか」と不安がある	55 15.4%	29 20.0%	-	-	84 16.7%
③心がけるつもりはない	18 5.0%	2 1.4%	-	-	20 4.0%
n：回答者数	357	145	-	-	502



Q12. (高校若者・保護者) 「日本人は、特に義務教育を終えた年代から、カルシウムの摂取量が足りていない」という調査結果があります。牛乳・乳製品は、カルシウムを効率的に摂取できる食品ですが、あなたは牛乳・乳製品を摂取するように心がけていますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

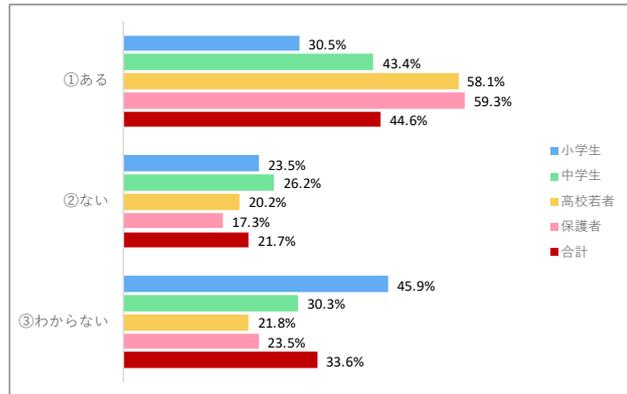
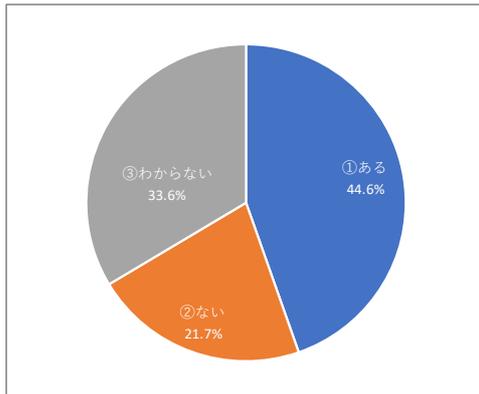
高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①心がけて、よく摂取している	-	-	68 54.8%	147 60.5%	215 58.6%
②心がけているが、購入する機会が少なく、あまり摂取できていない	-	-	35 28.2%	55 22.6%	90 24.5%
③心がけていない	-	-	21 16.9%	41 16.9%	62 16.9%
n：回答者数	-	-	124	243	367



Q13.栃木県では、外国人住民が増えています。外国人住民を理解する上で（あなたが外国人の場合は日本人住民を理解する上で）、難しさを感じる（感じた）ことはありますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

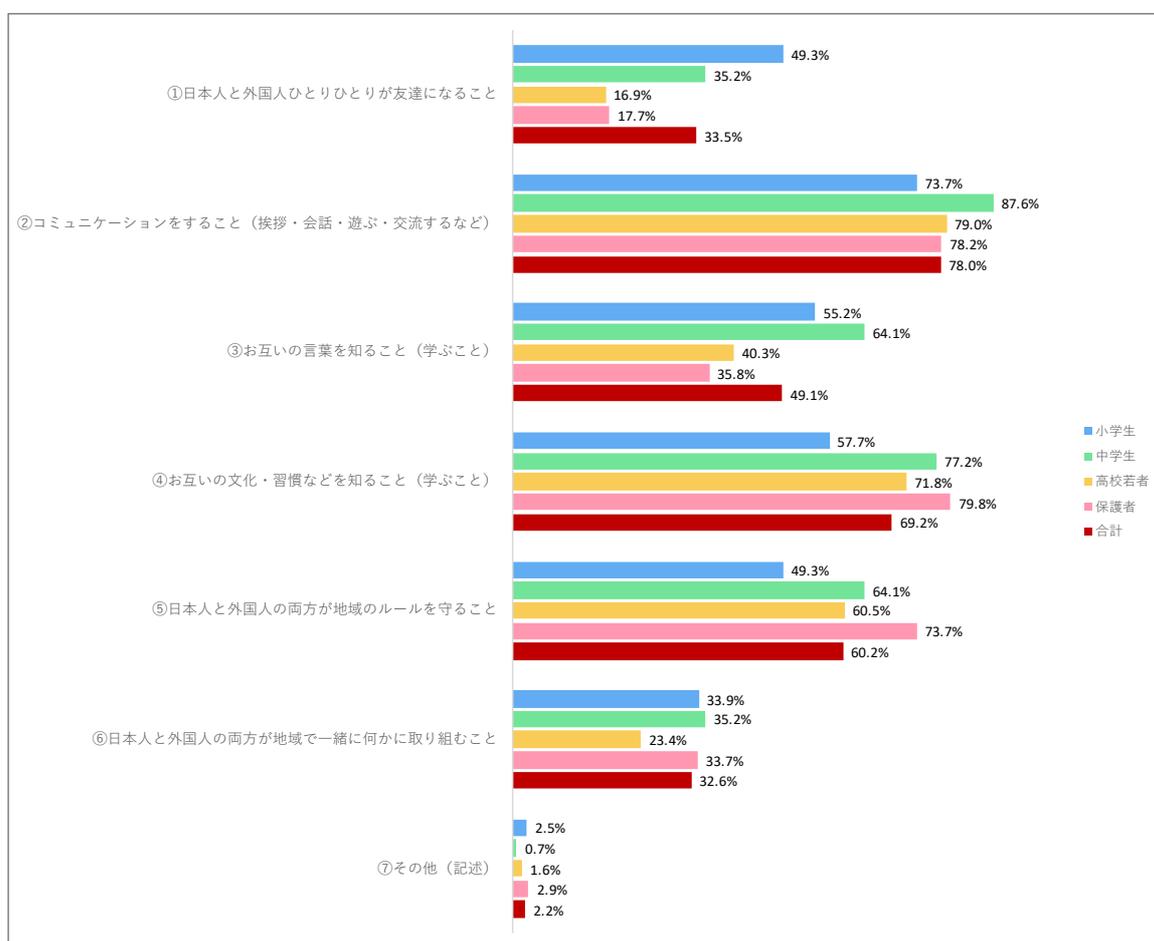
小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①ある	109 30.5%	63 43.4%	72 58.1%	144 59.3%	388 44.6%
②ない	84 23.5%	38 26.2%	25 20.2%	42 17.3%	189 21.7%
③わからない	164 45.9%	44 30.3%	27 21.8%	57 23.5%	292 33.6%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q14.日本人住民と外国人住民が、同じ地域で仲良く・助け合って暮らすために、どのようなことが大切だと思いますか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①日本人と外国人ひとりひとりが友達になること	176 49.3%	51 35.2%	21 16.9%	43 17.7%	291 33.5%
②コミュニケーションをすること（挨拶・会話・遊ぶ・交流するなど）	263 73.7%	127 87.6%	98 79.0%	190 78.2%	678 78.0%
③お互いの言葉を知ること（学ぶこと）	197 55.2%	93 64.1%	50 40.3%	87 35.8%	427 49.1%
④お互いの文化・習慣などを知ること（学ぶこと）	206 57.7%	112 77.2%	89 71.8%	194 79.8%	601 69.2%
⑤日本人と外国人の両方が地域のルールを守ること	176 49.3%	93 64.1%	75 60.5%	179 73.7%	523 60.2%
⑥日本人と外国人の両方が地域で一緒に何かに取り組むこと	121 33.9%	51 35.2%	29 23.4%	82 33.7%	283 32.6%
⑦その他（記述）	9 2.5%	1 0.7%	2 1.6%	7 2.9%	19 2.2%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q14.その他（記述）

【小学生】

- ・外国人と、いっしょにご飯を食べること。
- ・やさしくてしんせつでいることがたいせつだとも思います。
- ・関わりを増やす、助け合ってくらす
- ・イベントなどに参加すること
- ・公園で外国の子におもちゃを何も言わずに勝手に取られたので、基本的なルールは教えて欲しいです。
- ・外国人と日本人が協力して、遊ぶ計画をつくって、一緒に遊ぶこと。
- ・一緒にいたら仲良くなる
- ・差別しないでお互い協力すること。
- ・「郷に入っては郷に従え」、この言葉が全てだと思います。

【中学生】

- ・私がファミマに行った時、あるキャンペーンをしていて、お会計をしようとしていたとき、外国人がバーコードのないものを頑張って探していたのもう少しだけ日本人店員も外国人店員もわからないことや、そのことをさせる事が必要だと感じた。

【高校若者】

- ・お互いの潜在的な苦手意識をなくすこと
- ・外国人が日本のルールに従うこと

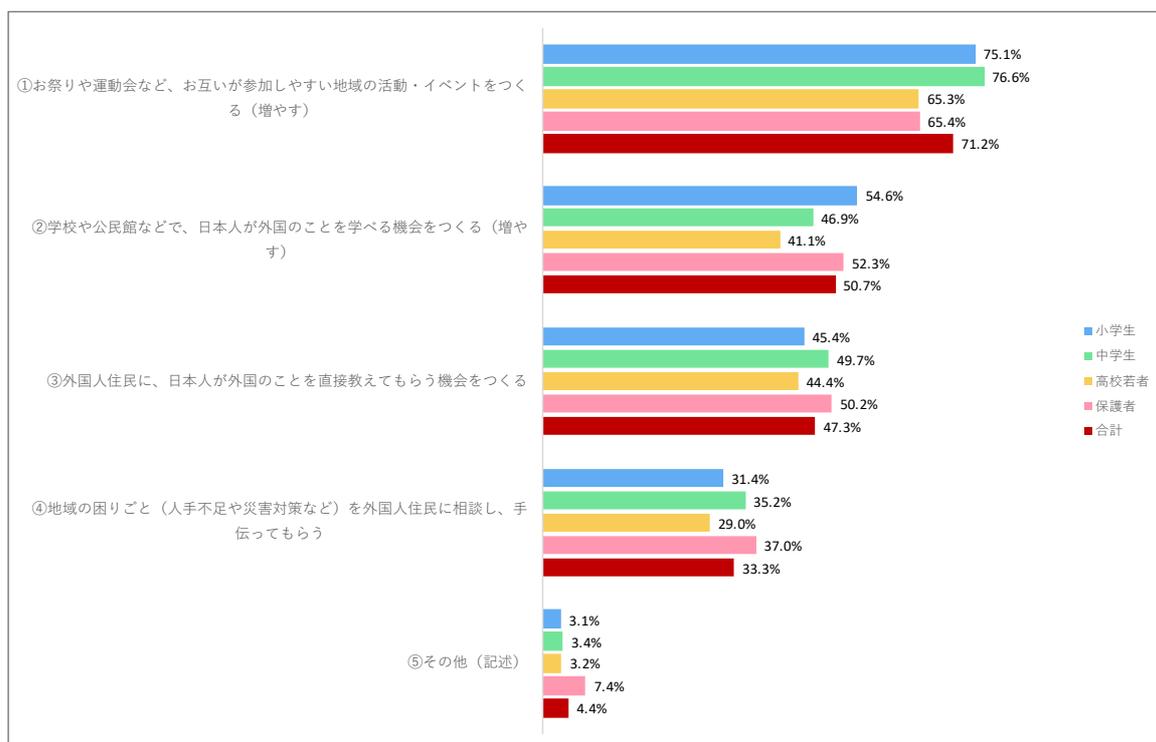
【保護者】

- ・日本の常識を無条件に外国人に当てはめて判断をしないこと
- ・ありのままの意見を交換して理解し受けいる
- ・マナーやしきたりを含めた文化を事前に学ぶこと
- ・日本に住むばかりを支援しないで、先ずは日本人への支援をして欲しいそれでも来る外国人は地域に根差した活動への参加を促して欲しい
- ・外国人を増やしすぎないこと

Q15.日本人住民と外国人住民が、同じ地域で仲良く・助け合って暮らすために、具体的にどのようなことが効果があると思いますか。アイデアを教えてください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①お祭りや運動会など、お互いが参加しやすい地域の活動・イベントをつくる（増やす）	268 75.1%	111 76.6%	81 65.3%	159 65.4%	619 71.2%
②学校や公民館などで、日本人が外国のことを学べる機会をつくる（増やす）	195 54.6%	68 46.9%	51 41.1%	127 52.3%	441 50.7%
③外国人住民に、日本人が外国のことを直接教えてもらう機会をつくる	162 45.4%	72 49.7%	55 44.4%	122 50.2%	411 47.3%
④地域の困りごと（人手不足や災害対策など）を外国人住民に相談し、手伝ってもらう	112 31.4%	51 35.2%	36 29.0%	90 37.0%	289 33.3%
⑤その他（記述）	11 3.1%	5 3.4%	4 3.2%	18 7.4%	38 4.4%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q15.その他（記述）

【小学生】

- ・外国人にも、日本の良いところをたくさんおしえる。
- ・あまり関わりたくない
- ・お互いの文化を知って、その文化を楽しむ機会をつくる。
- ・外国人に日本の文化などを知ってもらえるようにコミュニケーションをとれるようにする。
- ・特に思いつかない
- ・ない
- ・日本の文化やマナーを知ってもらう場を設ける
- ・一緒に地域のことを勉強する。
- ・日本の文化を外国人にも理解してもらう
- ・外国人が日本人に合わせる意識を持ってほしい、ここは日本だから、外国人に合わせることはないのでは
- ・外国人の人が何か貸して欲しいものがある時に、気軽に借りれる場所をつくる。

【中学生】

- ・外国人が日本を理解しやすいように、日本の文化、考え方、行事を紹介する
- ・日本文化の体験イベントを開く
- ・外国人も日本のことを学ぶ機会があると良いと思う。
- ・外国の方に、日本社会のルールを教えること。
- ・挨拶をする。

【高校若者】

- ・外国人にも日本について知ってもらおう。
- ・生産野菜で外国料理を教わりたい
- ・イベントなどでは結局外国人住民の方を迎え入れたいという方しか集まらないと思うのでイベントで交流するなどの案は効果がないと考えます。
ですが、今の所それ以外のアイデアが浮かびません。
- ・外国人住民に日本のルールを学ぶ機会をつくる。
- ・外国人に日本の文化習慣を学んでもらう

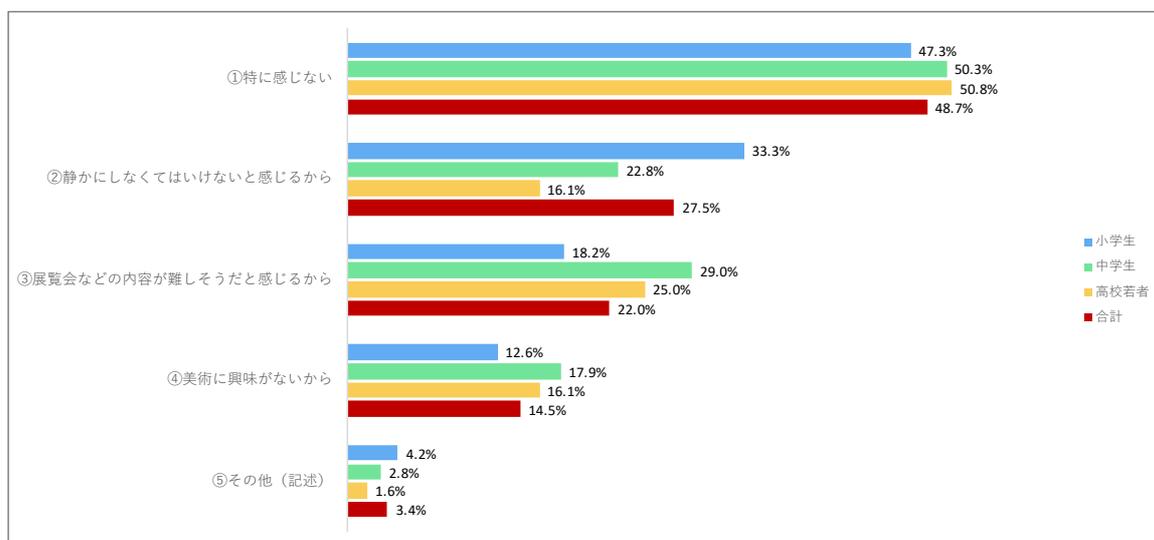
【保護者】

- ・外国人住民が日本・地域のルールや考え方を学ぶ機会をつくる
- ・学校や公民館などで、外国人が日本のことを学べる機会をつくる（増やす）日本人住民に、外国人が日本のことを直接教えてもらう機会をつくる
- ・外国の方が困っていることを無料で相談できる機会（例:土曜日に公民館で外国の子どもの学習支援を行う）を設ける。
- ・外国人住民が地域のルールや習慣を学べる環境を整備する
- ・なぜその土地を選んだのかアピールしてもらう事で受け入れる側も魅力や活力を再認識できる
- ・年代別に取り組むことが違うので年代別にわけて地域に取り組ませた方が良いと思う。学生、育児など
- ・外国人住民が地域のルールや日本の習慣を積極的に学べる機会を設けてほしい。
- ・市役所等に、外国人も日本人もなんでも相談できる窓口を設置する。
日常に起きている対立や困りごとを市や県が把握できるきっかけとなるのではないだろうか。
- ・外国人に日本のルールやしきたりを教える場をもうけてほしい
運転マナー(赤信号で待つべきなのに、タラタラ停止線を2mも超えてなかなかきちんと停止しない)が悪く怖い子供達に近づくなと躰けてしまう所以は外国人側にあると思う
- ・市役所が発信となって、格安の外国語講座(子供から大人)があると良い。外人さんとの交流の場があったら良い(友達が欲しい)
- ・覚悟をもって移住されてきたと思うので、外国の方が日本の文化やマナーをしっかりと守る方が大切だと思う。
- ・外国人が日本のルールを守るように勉強してもらう
- ・まず、偏見をなくすこと。お互いが協力的だと知ってもらうこと。
- ・外国人は日本に入れるべきではないと思います。
- ・自治会に必ず参加(年会費や、地域の行事手伝い、ゴミ当番など)日本語の習得
- ・日本人が外国の風習を学ぶ前に、まずは外国人が日本で暮らすなら日本に合わせて欲しい。
- ・全年齢ともに、英語を学ぶ機会や場所を増やし、まずはコミュニケーションがとれるよう言葉の壁がなくなるといいなと思います

Q16. (小学生・中学生・高校若者) 美術館を訪れるときに、心理的なハードルを感じることはありますか。また、感じる場合、どのようなものがハードルとなりますか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①特に感じない	169 47.3%	73 50.3%	63 50.8%	-	305 48.7%
②静かにしなくてはいけないと感じるから	119 33.3%	33 22.8%	20 16.1%	-	172 27.5%
③展覧会などの内容が難しそうだと感じるから	65 18.2%	42 29.0%	31 25.0%	-	138 22.0%
④美術に興味がないから	45 12.6%	26 17.9%	20 16.1%	-	91 14.5%
⑤その他（記述）	15 4.2%	4 2.8%	2 1.6%	-	21 3.4%
n：回答者数	357	145	124	-	626



Q16.その他（記述）

【小学生】

- ・きれいな物ばかりだから。
- ・雰囲気が怖いから
- ・いろいろな人が集中しているので、居づらい。
- ・美術館がどこにあるか分からない
- ・部屋で遊んで、ゴロゴロしていたいから。
- ・どういうことか分からない
- ・怖い気がする
- ・美術館に行ったことがないです
- ・何かを壊さないか心配だと感じるから
- ・子供から大人までみんなが楽しめる上野にあるような美術館がいいです
- ・美術館に行ったことがなく、まだわからないみたいです。
- ・いったことない
- ・初めて行く所はハードルを感じますが、何回か行ったことがある所は、どこに何があるか把握しているのでそこまで感じないです。
- ・美術館は、入るのに高く、お金がないと、美に触れられない
- ・行った時がない

【中学生】

- ・小さい頃いったため覚えていない
- ・感想をもとめられるから
- ・作家を知らない
- ・行ったことがない

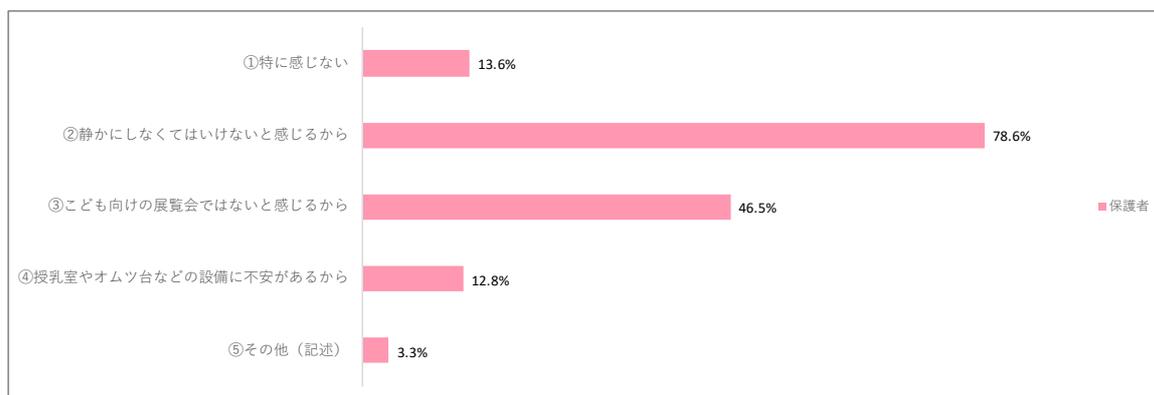
【高校若者】

- ・知識があまりないので知らない人の作品ばかりを見ることになってしまうから
- ・行ったことないです。

Q16.（保護者） こどもと一緒に美術館を訪れるときに、心理的なハードルを感じることはありますか。また、感じる場合、どのようなものがハードルとなりますか。【いくつか選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①特に感じない	-	-	-	33	33
	-	-	-	13.6%	13.6%
②静かにしなくてはいけないと感じるから	-	-	-	191	191
	-	-	-	78.6%	78.6%
③こども向けの展覧会ではないと感じるから	-	-	-	113	113
	-	-	-	46.5%	46.5%
④授乳室やオムツ台などの設備に不安があるから	-	-	-	31	31
	-	-	-	12.8%	12.8%
⑤その他（記述）	-	-	-	8	8
	-	-	-	3.3%	3.3%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q16.その他（記述）

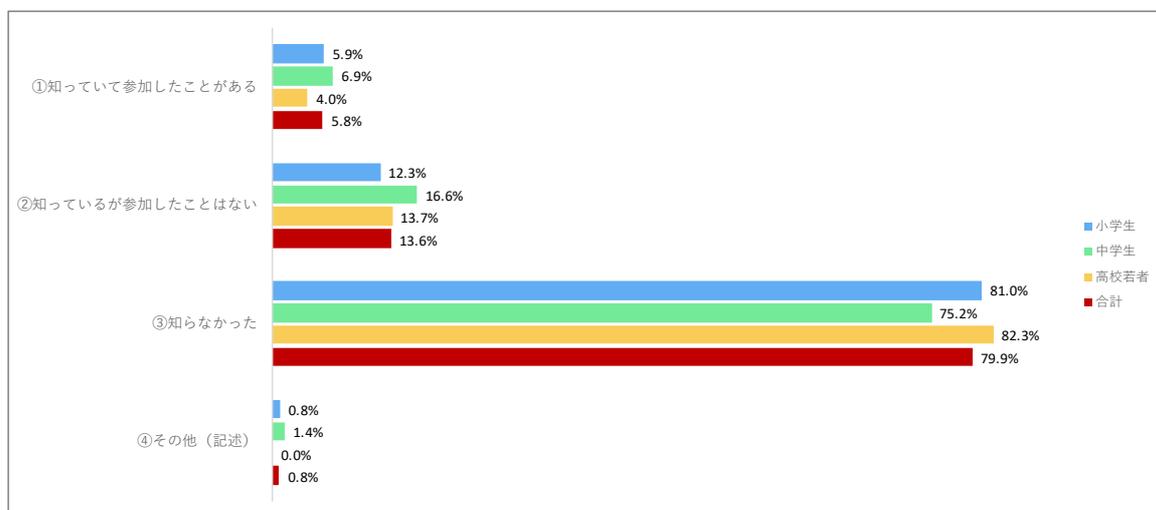
【保護者】

- ・展示物に触れたり、親とはぐれたりしないか注意していないといけなから。
- ・自信が芸術に疎く、子どもたちつまらなさそうにされるのも困るから。
- ・美術館での過ごし方を身につけられるまで、そのような場所には子どもを連れていきません。
- ・展示物に触れてしまいそう、入ってはいけないところに入ってしまいそう。ベビーカーで周ることができるか分からない。
(できなかった場合大きな荷物になる)
- ・行ったことも、行こうとも思ったこともないのでわからない
- ・意味が分かりません
- ・子供の事を考えてしまい、集中して楽しむことができない。
- ・子連れを非難する人たちの存在（例として、他者の目を気にして必要以上に子供を叱ってみせたり、非難を和らげるためにパフォーマンスとして子供を嗜めて見せる、など。

Q17. (小学生・中学生・高校若者) 栃木県立美術館で、楽しく制作活動を行うことのできるワークショップ「アトラウンジさくら塾」や、美術館の作品をみんなで鑑賞する様々なイベントなど、様々な世代が参加できるイベントを開催していることを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①知っているが参加したことがある	21 5.9%	10 6.9%	5 4.0%	-	36 5.8%
②知っているが参加したことはない	44 12.3%	24 16.6%	17 13.7%	-	85 13.6%
③知らなかった	289 81.0%	109 75.2%	102 82.3%	-	500 79.9%
④その他（記述）	3 0.8%	2 1.4%	0 0.0%	-	5 0.8%
n：回答者数	357	145	124	-	626



Q17.その他（記述）

【小学生】

- ・ 佐野だから知りません
- ・ 栃木県美術館があることを知らなかった。

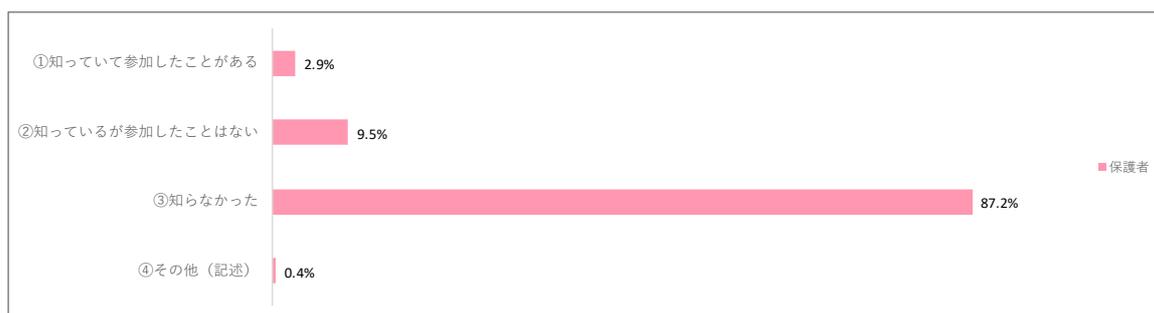
【中学生】

- ・ いままで知らなかったがぜひ参加してみたいと思った。
- ・ 覚えていないが参加したことはあった

Q17.（保護者）栃木県立美術館で、こども向けワークショップ「アトラウンジさくら塾」や、こどもと一緒に観覧することを歓迎するイベント「ママパパ鑑賞応援デー」などを開催していることを知っていましたか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①知っているが参加したことがある	-	-	-	7 2.9%	7 2.9%
②知っているが参加したことはない	-	-	-	23 9.5%	23 9.5%
③知らなかった	-	-	-	212 87.2%	212 87.2%
④その他（記述）	-	-	-	1 0.4%	1 0.4%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q17.その他（記述）

【保護者】

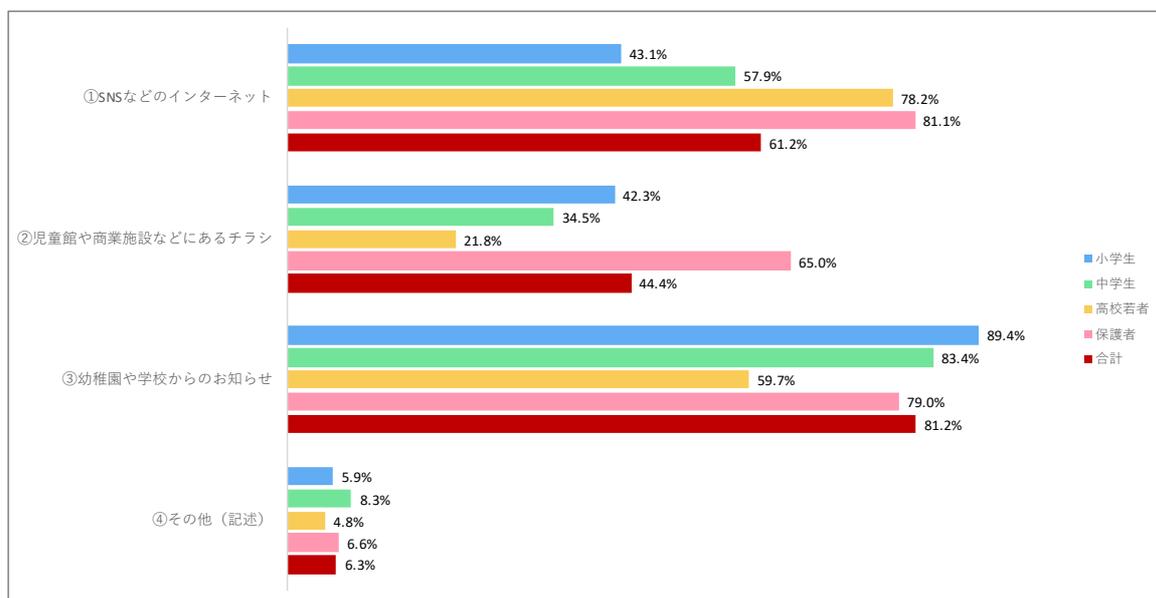
- ・申し込んでいて参加予定

Q18. (小学生・中学生・高校若者) 参加するイベントなどの情報収集は、どのような媒体で行っていますか。【いくつか選んでください】

Q18. (保護者) こどもと一緒に参加するイベントなどの情報収集は、どのような媒体で行っていますか。【いくつか選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①SNSなどのインターネット	154 43.1%	84 57.9%	97 78.2%	197 81.1%	532 61.2%
②児童館や商業施設などにあるチラシ	151 42.3%	50 34.5%	27 21.8%	158 65.0%	386 44.4%
③幼稚園や学校からのお知らせ	319 89.4%	121 83.4%	74 59.7%	192 79.0%	706 81.2%
④その他（記述）	21 5.9%	12 8.3%	6 4.8%	16 6.6%	55 6.3%
n：回答者数	357	145	124	243	869



Q18.その他（記述）

【小学生】

- ・ ない
- ・ 出かけたときにチラシを見たりした。
- ・ 市の会報紙
- ・ 新聞、広報うつのみや
- ・ 知り合いから
- ・ 下野新聞
- ・ 広報誌
- ・ 姉妹の通う保育園からのチラシ
- ・ 広報うつのみや
- ・ 佐野市のLINE
- ・ 知人からの口コミ
- ・ ニュース
- ・ おかあさん、おとうさんから など保護者 8件

【中学生】

- ・ 新聞 ラジオ
- ・ 家にくるチラシやお知らせ
- ・ 市や県の広報
- ・ 新聞やネット、お母さんから聞いたりします
- ・ 回覧板
- ・ 両親からなど 7件

【高校若者】

- ・友達や親からの情報提供。
- ・親や友達
- ・家族に教えてもらう
- ・親
- ・特に積極的に収集していない

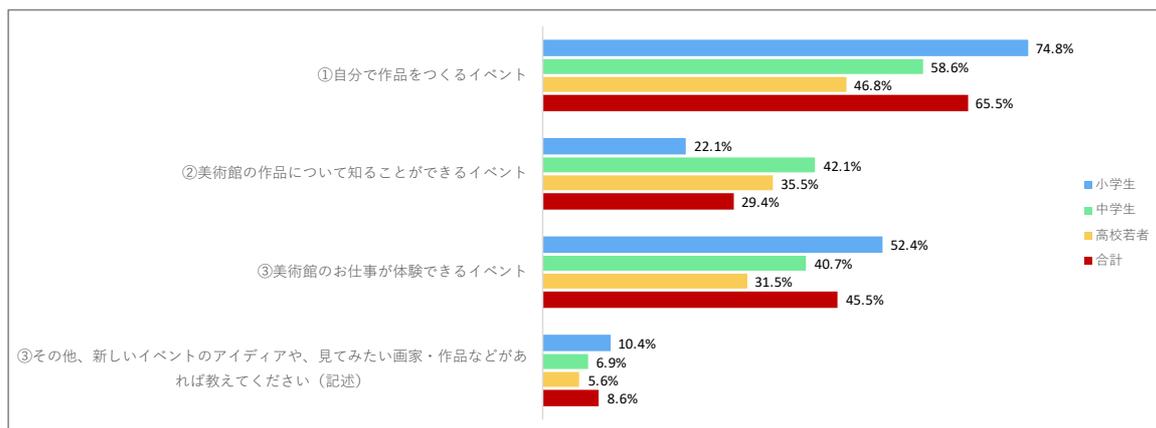
【保護者】

- ・家内がアンテナが高いので大体教えてくれるか参加を押し付けてくる
- ・学校からの配布されるおたより
- ・下野新聞, ラジオレディオベリーからの情報
- ・県や地域の公式ページをみたり、図書館配布の案内をみたりして探している
- ・広報
- ・もんみやなどの雑誌
- ・市が発行している冊子など
- ・新聞 ラジオ
- ・ママ友からの口コミやLINEなどでの転送
- ・親が取っている新聞や折り込みチラシ、フリーペーパー。
- ・ママ友の口コミ
- ・自治会の回覧や配布物
- ・新聞広告商工会議所
- ・広報うつのみや
- ・市の広報誌
- ・宇都宮市の広報誌
- ・知人から教えてもらう。

Q19. (小学生・中学生・高校若者) 今後、栃木県立美術館で開催してほしいイベントや企画展などをお聞かせください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①自分で作品をつくるイベント	267 74.8%	85 58.6%	58 46.8%	-	410 65.5%
②美術館の作品について知ることができるイベント	79 22.1%	61 42.1%	44 35.5%	-	184 29.4%
③美術館のお仕事が体験できるイベント	187 52.4%	59 40.7%	39 31.5%	-	285 45.5%
④その他、新しいイベントのアイデアや、見てみたい画家・作品などがあれば教えてください（記述）	37 10.4%	10 6.9%	7 5.6%	-	54 8.6%
n：回答者数	357	145	124	-	626



Q19.その他（記述）

【小学生】

- ・絵本作家 ツペラツペラ
- ・スズキノリタケさんの特別展がみたいです。ヨシタケシンスケさんの特別展がすごく楽しかったからです。
- ・俵屋宗達の風神雷神図が見たい。葛飾北斎の神奈川沖浪裏もみたい。
- ・作品をさわることができるイベント。
- ・村上隆、三浦大地
- ・行けなかったが、ヨシタケシンスケが見たかった。
- ・みんなで1つのものをかんせいさせる
- ・草間彌生、カウズ、現代美術
- ・絵の描き方を教えてほしい
- ・絵本や漫画 アニメの美術の展示
- ・美術館の歴史を知るイベント
- ・田代大輔
- ・絵を描く体験
- ・大谷石など地元で材料で作った作品展
- ・さかなクン
- ・デジタルアート体験できる作品
- ・五味太郎、キャビンカンパニー
- ・有名なゴッホの作品が見たいです。
- ・参加した人たちで何か1つの作品を作るイベント
- ・名探偵コナンに出てくる画家の作品をみたい
- ・ヨシタケシンスケさんなど、有名な絵本作家さんのイベントをやってほしい。
- ・栃木に住んでいる先生と一緒に作れるお教室をやってほしい。
- ・葛飾北斎、ゴッホ、モネなど有名な方がいいです
- ・図工や美術にあまり興味がない
- ・おもちゃで作る作品展
- ・実物にふれることができるイベント
- ・このままでいい
- ・柴田ケイコさんの展示会があったら、必ず行きます。
- ・絵が上手になるイベント
- ・ヨシタケシンスケ展のような体験型アートをもっと増やしてほしいです
- ・例えば、『逃走中』のようなゲームを美術館内で行い、作品の収集やミッションに加えて、知識や美術館のことを楽しく知ってもらおう。
- ・特にない など 3件

【中学生】

- ・絵が苦手な人のために、絵の描き方を教えてほしいです。
- ・話しながらみられる、説明をしてもらえるイベント
- ・若い人たちもSNSなどを通して知っているような作家や芸術家による作品展
- ・美術館に、展示されている作品の作者によるトークイベント。
- ・ピカソバンクシー
- ・企画展などで取り上げた画家や作家についての詳しい解説
- ・奈良美智さんやふくざわゆみこさんの原画
- ・職員への疑問や質問などや裏の施設を見せてもらう。など

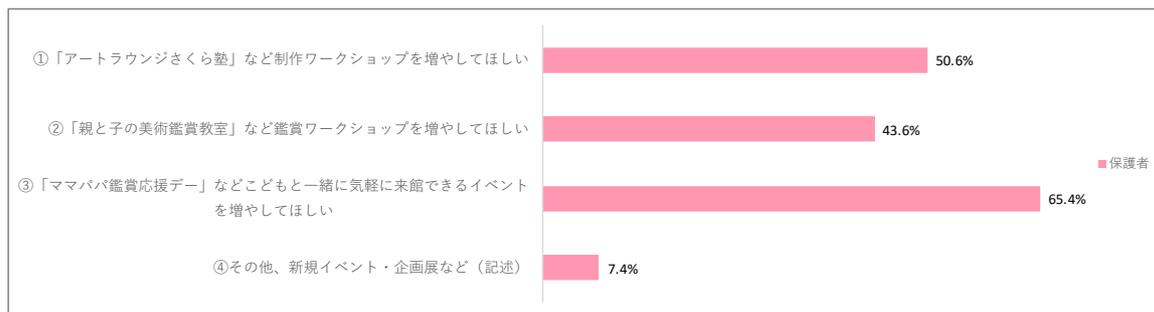
【高校若者】

- ・バックヤードを見学できるイベント
- ・アニメ、漫画、ゲームなどのサブカルチャーのイラストやデザインの展示
もしくはコラボSplatoon展の復刻イベント的なのがあったらすごく嬉しい
- ・昔の東アジアの作品など
- ・もう開催していたら申し訳ないのですが、栃木県で取れた化石を展示して欲しいです。
- ・体験(例えば、蜂の巣の絵があったらその空間だけハチミツの匂いがして、自分も絵の世界に入り込めるみたいな)できる美術館
- ・岡本太郎タローマン

Q19.（保護者）今後、栃木県立美術館で開催してほしい子ども向けのイベントや企画展などをお聞かせください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①「アートラウンジさくら塾」など制作ワークショップを増やしてほしい	-	-	-	123	123
	-	-	-	50.6%	50.6%
②「親と子の美術鑑賞教室」など鑑賞ワークショップを増やしてほしい	-	-	-	106	106
	-	-	-	43.6%	43.6%
③「ママパパ鑑賞応援デー」など子どもと一緒に気軽に来館できるイベントを増やしてほしい	-	-	-	159	159
	-	-	-	65.4%	65.4%
④その他（記述）	-	-	-	18	18
	-	-	-	7.4%	7.4%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q19.その他（記述）

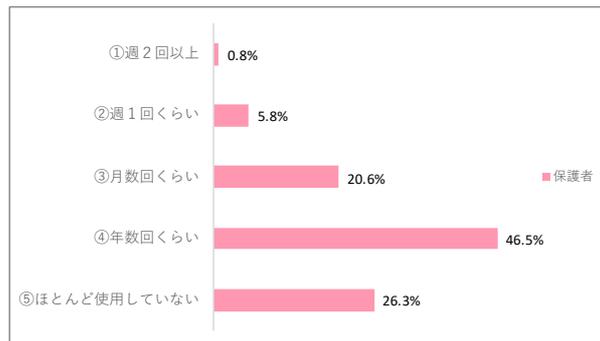
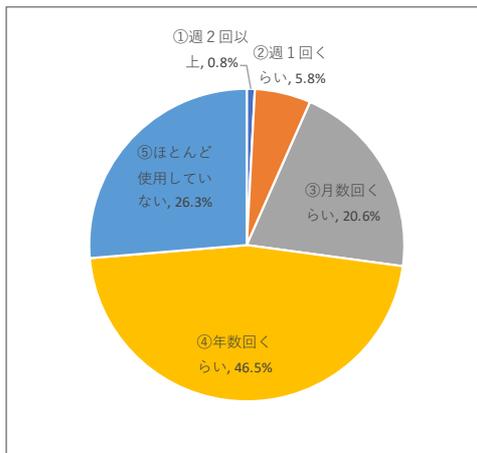
【保護者】

- ・中学生、高校生を対象とした親視線ではなく本人が興味を持って参加できるワークショップやイベント
- ・絵本作家さんの作品など、子どもが身近に感じる展示をしてほしい。
- ・アートラウンジさくら塾は興味があって、子どもと参加したいと考えていた時期がありました。下の子どもが小さく、一緒に参加できないので、託児や平日開催なども検討してほしいです。
- ・託児付きでゆっくり見て回れると嬉しい。
- ・立体作品の作製
- ・宇都宮美術館で開催された「ヨシタケシンスケ展」のような、おとも子どもも楽しめる展示
- ・ワークショップ等で、美術館が身近な場所になると良い。難しく考えず、芸術が分からなくてもルールを守って気楽に行ける場所になると良い。
- ・出張ワークショップの開催。なかなか美術館まだ行けないので。
- ・知らなかったので開催されているものを実際に見てから回答したいです
- ・遠いので、距離があると参加しづらいです。各地域の公民館で出張講座をしてほしい。
- ・お絵描きワークショップクレヨン、絵の具、筆の使い方やテクニック
- ・希少だけど触れる物を展示して欲しい
- ・絵本作家の展示会は行きやすい。五味太郎さんや、かがくいひろしさんなどの乳幼児向けの絵本を多く手がける作家さんの企画展には足を運びたい。
- ・子供も大人も知っている美術の展示会企画（出かけたくなるような美術の展示）
- ・絵本作家さんなどの交流会もかねた展示会画家さんによるワークショップや、なぜ画家になろうとしたかの座談会など

Q20. (保護者) 「とちぎ笑顔つぎつぎカード (子育て支援パスポート)」 を、どれくらいの頻度で使用していますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

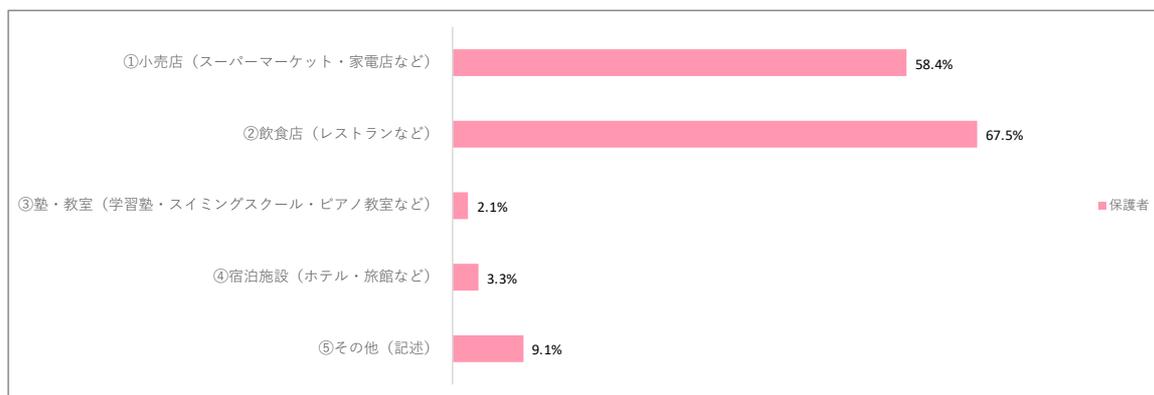
保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①週2回以上	-	-	-	2 0.8%	2 0.8%
②週1回くらい	-	-	-	14 5.8%	14 5.8%
③月数回くらい	-	-	-	50 20.6%	50 20.6%
④年数回くらい	-	-	-	113 46.5%	113 46.5%
⑤ほとんど使用していない	-	-	-	64 26.3%	64 26.3%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q21.（保護者）「とちぎ笑顔つぎつぎカード（子育て支援パスポート）」を、主にどのような業種の店舗で使用していますか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①小売店（スーパーマーケット・家電店など）	-	-	-	142	142
	-	-	-	58.4%	58.4%
②飲食店（レストランなど）	-	-	-	164	164
	-	-	-	67.5%	67.5%
③塾・教室（学習塾・スイミングスクール・ピアノ教室など）	-	-	-	5	5
	-	-	-	2.1%	2.1%
④宿泊施設（ホテル・旅館など）	-	-	-	8	8
	-	-	-	3.3%	3.3%
⑤その他（記述）	-	-	-	22	22
	-	-	-	9.1%	9.1%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q21.その他（記述）

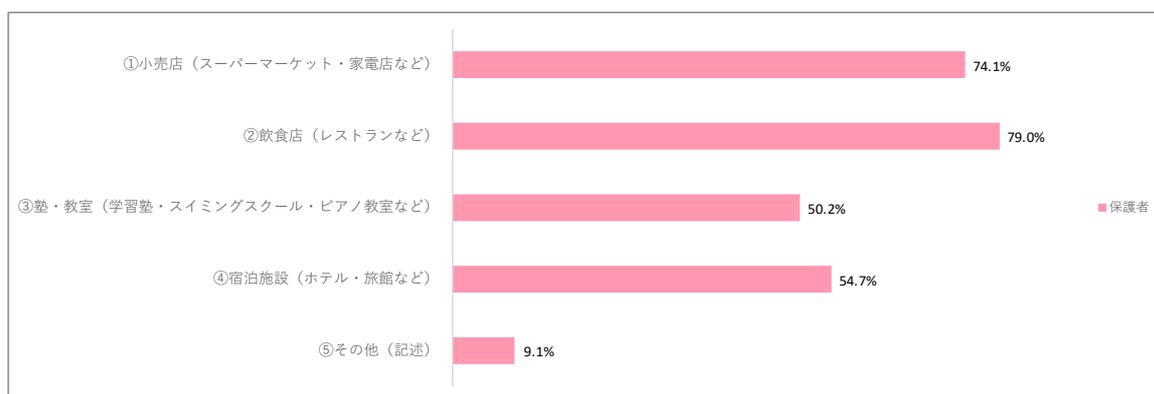
【保護者】

- ・道の駅ろまんちっく村の温泉施設
- ・日帰り温泉
- ・ガソリンスタンド 4件
- ・使用したことがない 使っていない など 5件
- ・ほとんど利用していない
- ・県外の施設
- ・どこで使えるか分からない
- ・クリーニング屋
- ・テーマパーク
- ・娯楽施設
- ・存在を知らなかった移住してきた時、市からの説明案内がなかった
- ・どこで使えるのかわかりにくく、調べにくくて使えない。
- ・使っても意味無いところがチラホラ。
- ・あまり魅力的な特典がなく使用していない
- ・県外の水族館

Q22. (保護者) 今後、「とちぎ笑顔つぎつぎカード (子育て支援パスポート)」の協賛店として、増えるとうれしい業種を教えてください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①小売店 (スーパーマーケット・家電店など)	-	-	-	180	180
	-	-	-	74.1%	74.1%
②飲食店 (レストランなど)	-	-	-	192	192
	-	-	-	79.0%	79.0%
③塾・教室 (学習塾・スイミングスクール・ピアノ教室など)	-	-	-	122	122
	-	-	-	50.2%	50.2%
④宿泊施設 (ホテル・旅館など)	-	-	-	133	133
	-	-	-	54.7%	54.7%
⑤その他 (記述)	-	-	-	22	22
	-	-	-	9.1%	9.1%
n：回答者数	-	-	-	243	243



Q22.その他 (記述)

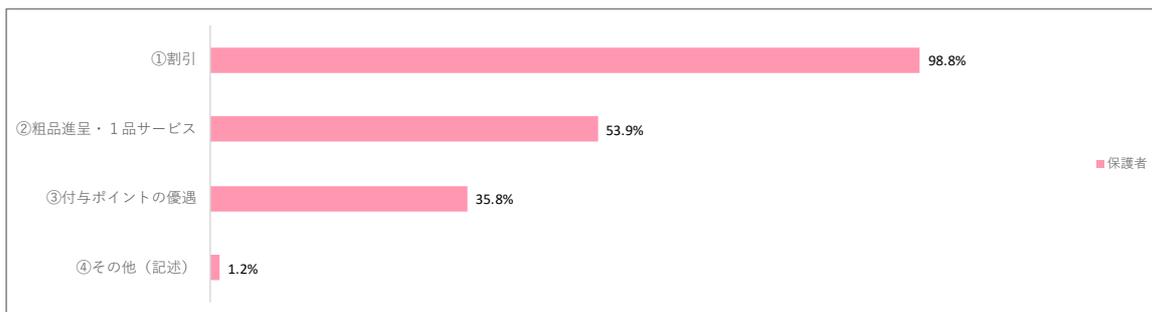
【保護者】

- ・レジャー施設 2件
- ・博物館やこどもの遊び場
- ・協賛店でも、対象となる金額条件や曜日指定などがある為、実際には使えてないことが多い。
- ・コストコ、りんどうこなどのレジャー施設
- ・美術館、文化会館などの施設
- ・ガソリンスタンド
- ・商業施設
- ・テーマパークや映画、交通機関
- ・学用品を購入できる本屋さんや体操着や制服を購入する地元の小売店で特典があると嬉しいです。
- ・プール
- ・宇都宮動物園やおもちゃ博物館や中川水遊園や那須どうぶつ王国や那須ハイランドパーク等のアミューズメント施設。
- ・娯楽施設
- ・チェーン店ばかりでなく個人店イベントなどスマホ対応にすると広がる可能性がある
- ・衣料品店
- ・観光施設。休日など、遊び場などの割引があるのが1番嬉しい。あとは、ガソリンスタンドの値引きやスタンプ増。地域柄車移動が多いのでありがたい。
- ・とちぎファミリーランド
- ・子供服
- ・プールや、遊園地、映画館、カラオケなどの遊べる施設
- ・写真撮影
- ・コンビニ

Q23.（保護者）「とちぎ笑顔つぎつぎカード（子育て支援パスポート）」の特典・サービスとして、あるとうれしい内容を教えてください。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①割引	-	-	-	240	240
	-	-	-	98.8%	98.8%
②粗品進呈・1品サービス	-	-	-	131	131
	-	-	-	53.9%	53.9%
③付与ポイントの優遇	-	-	-	87	87
	-	-	-	35.8%	35.8%
④その他（記述）	-	-	-	3	3
	-	-	-	1.2%	1.2%
n：回答者数	-	-	-	243	243



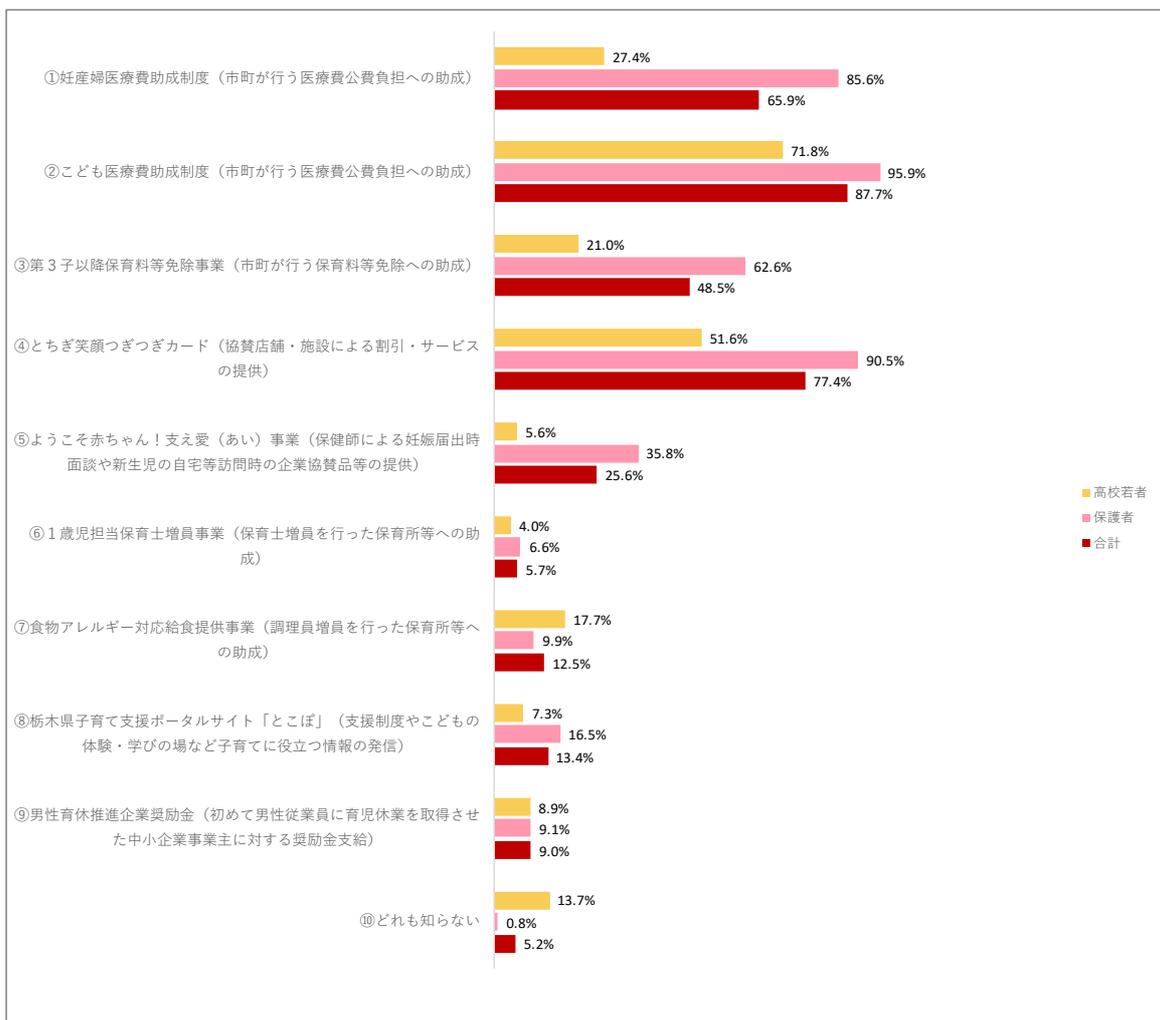
Q23.その他（記述）

- ・協賛店がわかりにくくて利用しづらいです。
- ・体験lesson
- ・割引率や回数をあげるなど、内容を見直してほしい。
- ・使える店がよくわからないので、(覚えていられない)使える店はレジなどで使えることをアピールしてもらえるとありがたい。(お店によっては使えます！とか、得点を書かれたポップやシールが貼ってある)
- ・子ども向けのプレゼントや記念品。

Q20.（高校若者）、Q24.（保護者）栃木県が実施している、妊娠、出産・子育て期における「こども施策」（主に県が自らの判断で実施しているもの）について、知っているものは次のうちどれですか。【いくつでも選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

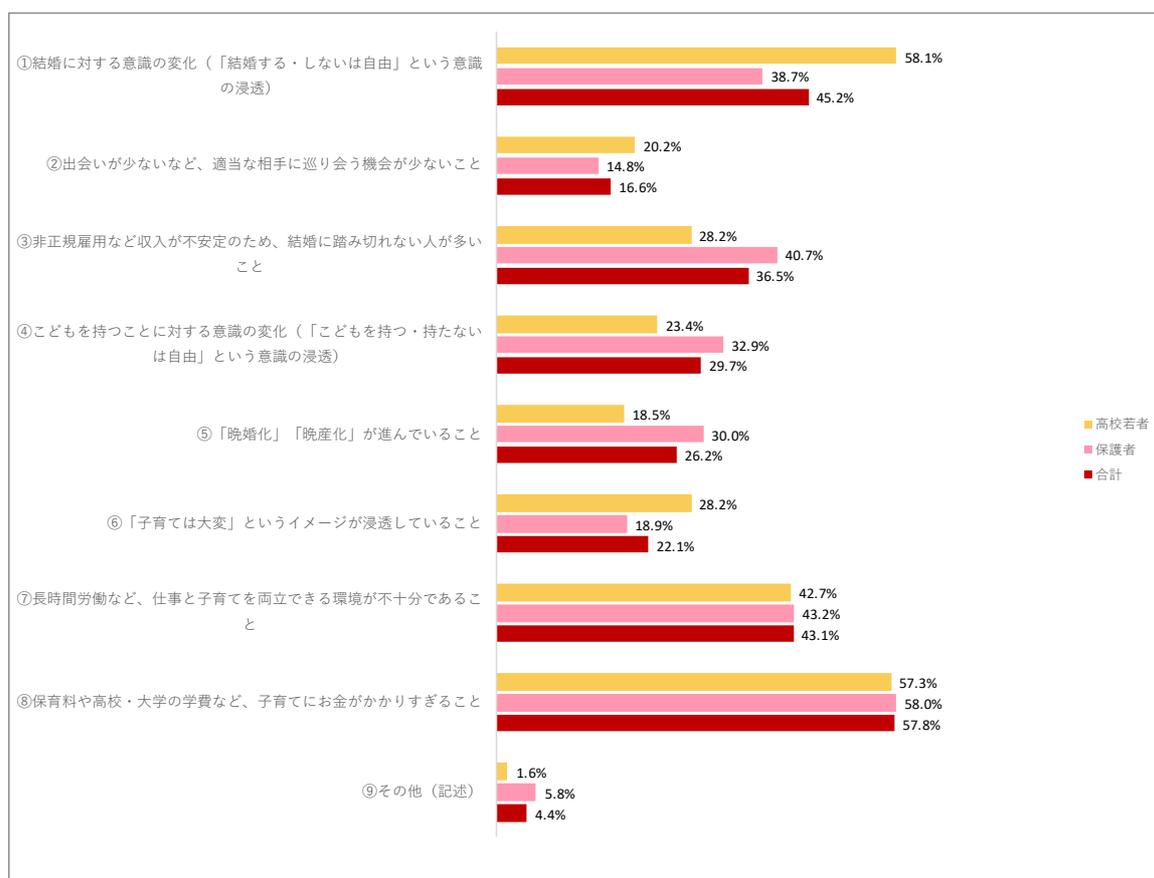
高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①妊産婦医療費助成制度（市町が行う医療費公費負担への助成）	-	-	34 27.4%	208 85.6%	242 65.9%
②こども医療費助成制度（市町が行う医療費公費負担への助成）	-	-	89 71.8%	233 95.9%	322 87.7%
③第3子以降保育料等免除事業（市町が行う保育料等免除への助成）	-	-	26 21.0%	152 62.6%	178 48.5%
④とちぎ笑顔つぎぎカード（協賛店舗・施設による割引・サービスの提供）	-	-	64 51.6%	220 90.5%	284 77.4%
⑤ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業（保健師による妊娠届出時面談や新生児の自宅等訪問時の企業協賛品等の提供）	-	-	7 5.6%	87 35.8%	94 25.6%
⑥1歳児担当保育士増員事業（保育士増員を行った保育所等への助成）	-	-	5 4.0%	16 6.6%	21 5.7%
⑦食物アレルギー対応給食提供事業（調理員増員を行った保育所等への助成）	-	-	22 17.7%	24 9.9%	46 12.5%
⑧栃木県子育て支援ポータルサイト「とこぼ」（支援制度やこどもの体験・学びの場など子育てに役立つ情報の発信）	-	-	9 7.3%	40 16.5%	49 13.4%
⑨男性育休推進企業奨励金（初めて男性従業員に育児休業を取得させた中小企業事業主に対する奨励金支給）	-	-	11 8.9%	22 9.1%	33 9.0%
⑩どれも知らない	-	-	17 13.7%	2 0.8%	19 5.2%
n：回答者数	-	-	124	243	367



Q21.（高校若者）、Q25.（保護者）現在、日本においても、栃木県においても、少子化が進行しています。その主な原因は、どこにあると思いますか。【3つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①結婚に対する意識の変化（「結婚する・しないは自由」という意識の浸透）	-	-	72 58.1%	94 38.7%	166 45.2%
②出会いが少ないなど、適当な相手に巡り会う機会が少ないこと	-	-	25 20.2%	36 14.8%	61 16.6%
③非正規雇用など収入が不安定のため、結婚に踏み切れない人が多いこと	-	-	35 28.2%	99 40.7%	134 36.5%
④子どもを持つことに対する意識の変化（「子どもを持つ・持たないは自由」という意識の浸透）	-	-	29 23.4%	80 32.9%	109 29.7%
⑤「晩婚化」「晩産化」が進んでいること	-	-	23 18.5%	73 30.0%	96 26.2%
⑥「子育ては大変」というイメージが浸透していること	-	-	35 28.2%	46 18.9%	81 22.1%
⑦長時間労働など、仕事と子育てを両立できる環境が不十分であること	-	-	53 42.7%	105 43.2%	158 43.1%
⑧保育料や高校・大学の学費など、子育てにお金がかかりすぎること	-	-	71 57.3%	141 58.0%	212 57.8%
⑨その他（記述）	-	-	2 1.6%	14 5.8%	16 4.4%
n：回答者数	-	-	124	243	367



Q21・Q25.その他（記述）

【高校若者】

- ・ 正規雇用でも収入が少ない。物価が高い、自分の生活でいっぱい。
- ・ 意識の変化

【保護者】

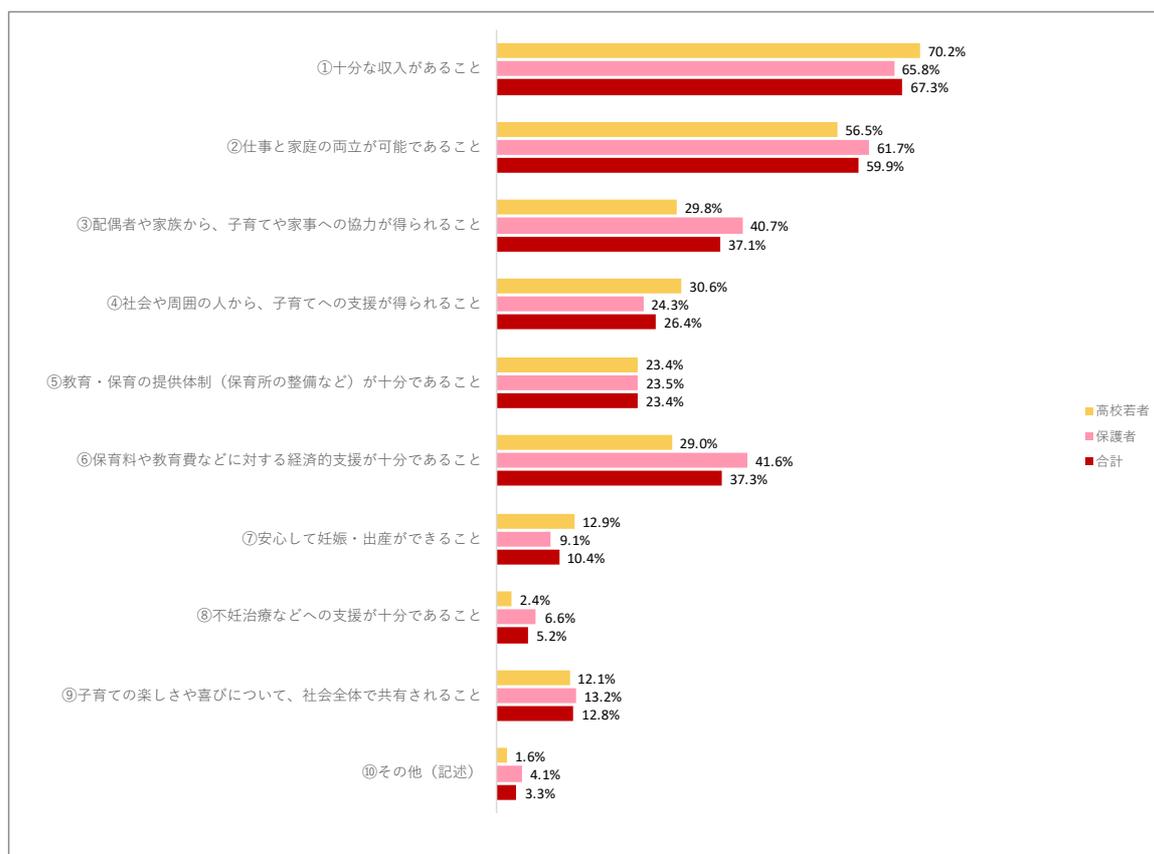
- ・ 定期的な収入があっても、賃金が低い、税金が高いなどで所得が低く、家族を持つことに不安があると思う
- ・ 税負担が大きい
- ・ 父親が育児に参加できていない家庭が多いように思う。家事、育児、仕事と、負担が母親に偏るため、第二子、第三子にはなかなか踏み切れないのではないと思う。

- ・少子化の原因についてではないのですが、この案を提案させてください。大学を四年制から3年制にすると良いと思います。メリットは多々ありますが長文入力不可でした。
- ・税金などが高く収入が増えても手取りが増えないため。
- ・政治に度々裏切られる。子育て罰という言葉が生まれるくらい子育て世代への厳しい世の中のせい。子育て世代への理解があまりにも乏しい。
- ・コロナ禍で子どもを預ける事ができず、仕事もしなくてはならなかった時、これ以上子どもを持つ事は難しいと感じました。
- ・子どもを育てるのにはとてもお金がかかるから。県立高校や私立高校の助成にしても年収で限られてしまい、必要な援助がいただけない為、自分達で貯蓄をしなければならない。
- ・ペットブーム…子供を育てるより、犬ねの方がお手軽
- ・上の項目、全部。書きたいことはたくさんあるけど、文字制限されて解答に書ききれません。何度もエラーになりました。
- ・お金をかける必要があるところは子どもを最優先に考えていないことが問題だと思います。この政策を決める人たちが優先することは子どもたちのことではありません。子どもが減っているのは食事のことや間違った健康情報、間違った医療機関への頼り方にあると思われます。
- ・育児休暇中に発生する収入減少期間や無給期間などに不安を持ちやすい。具体的なお金の支出など、マネープランが分からないのが不安だったので事前に予想が場ができるといいと思う。
- ・昨今の物価高に見合っていない賃金の中で子供を産んで育てて行こうと思えないから。子供が贅沢品になっている。
- ・不妊体質の人が増えたこと。授かりにくい。

Q22. (高校若者) Q26. (保護者) 国の調査では、「『夫婦が実際に予定するこどもの数』は、『理想とするこどもの数』を下回る」との結果が出ています。どうしたら、理想とするこどもの数を持てる人が増えると思いますか。【3つまで選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

高校若者・保護者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①十分な収入があること	-	-	87 70.2%	160 65.8%	247 67.3%
②仕事と家庭の両立が可能であること	-	-	70 56.5%	150 61.7%	220 59.9%
③配偶者や家族から、子育てや家事への協力が得られること	-	-	37 29.8%	99 40.7%	136 37.1%
④社会や周囲の人から、子育てへの支援が得られること	-	-	38 30.6%	59 24.3%	97 26.4%
⑤教育・保育の提供体制（保育所の整備など）が十分であること	-	-	29 23.4%	57 23.5%	86 23.4%
⑥保育料や教育費などに対する経済的支援が十分であること	-	-	36 29.0%	101 41.6%	137 37.3%
⑦安心して妊娠・出産ができること	-	-	16 12.9%	22 9.1%	38 10.4%
⑧不妊治療などへの支援が十分であること	-	-	3 2.4%	16 6.6%	19 5.2%
⑨子育ての楽しさや喜びについて、社会全体で共有されること	-	-	15 12.1%	32 13.2%	47 12.8%
⑩その他（記述）	-	-	2 1.6%	10 4.1%	12 3.3%
n：回答者数	-	-	124	243	367



Q22・Q26.その他（記述）

【高校若者】

- ・ 3つでなく、すべてかと思えます
- ・ 社会や周囲の人から、子育てへの支援が得られること・教育・保育の提供体制（保育所の整備など）が十分であること・保育料や教育費などに対する経済的支援が十分であること・安心して妊娠・出産ができること
- ・ 育児休暇中(望ましいのは子供が5歳になるくらいまで)には両親ともに働かなくてもいいくらいの支援金を全員に配ったり、奨学金制度をもっとハードル低くしたりする。

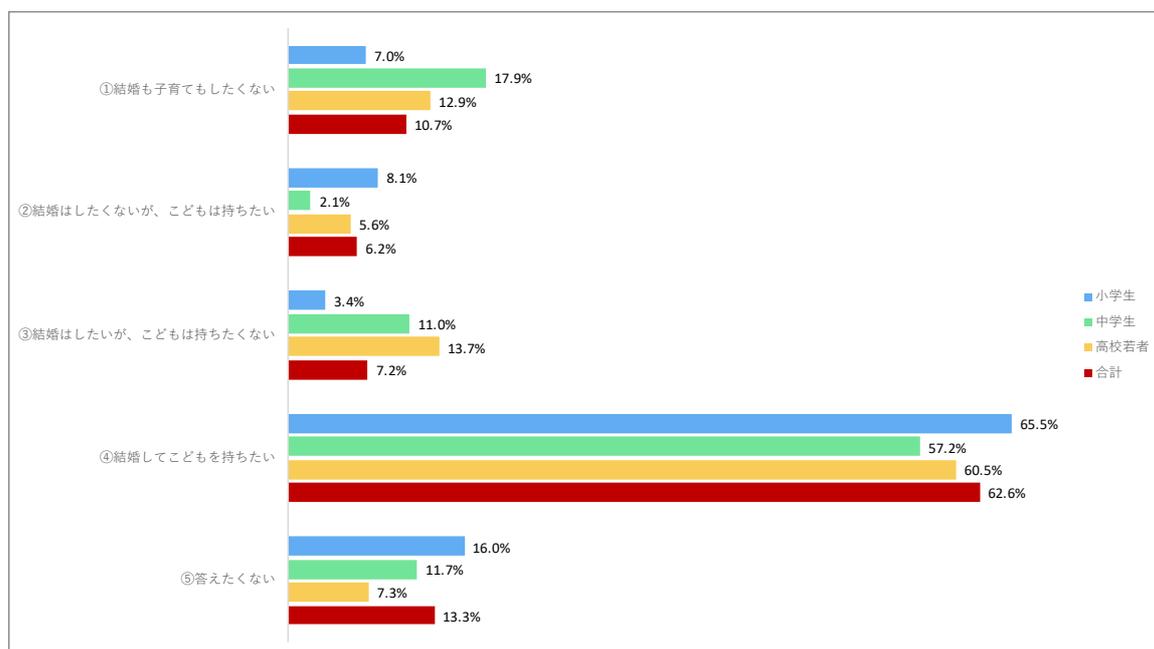
【保護者】

- ・将来の子育てに不安を残さないように経済が成長する事、成長させなかった(氷河期を作って人口ボーナスを消滅させた)事に対し、政府と官僚及び当時の有権者に一定のペナルティを与え、それを財源に子育て支援の施策を打つ事。
- ・義務教育後の金銭的な不安が軽減されること
- ・子どもがいない人が子どもと触れ合う、知り合う機会が増える。会社が休みやすい環境。
- ・シンガポールでは子連れしているとあたたかく迎え入れてくれます。タクシーでも子連れ妊婦優先ゾーン。
子連れは大変というのは認識出来ていると思うので子育てしやすい子連れ優先出来る県アピールすると旅行なども増えると思います。
- ・本当はもっと子どもが欲しいですが、共働きとしては2人が限界ではと思います。預け先が足りないと感じています。
- ・会社の制度で、子育てしやすい環境づくり
- ・上の項目、全部です。
- ・地域で育てるといって年長者の活躍の場を子育てにもっていくこと不妊にいたる原因となるものを排除していくこと
プラスチック、農薬、予防接種、添加物、不潔とされるものの概念、食品など身体に入るもの、使用できる材料を制限すること
- ・子どもの扶養控除が無いのは絶望的。夫婦という形にとらわれず、
シングルでも安心して子育てできるようにすれば子は増えると思う。
教育にお金がかかりすぎるので所得制限なしの補助をした方がよい。
- ・夫が定時に帰り、帰宅後は共に家事育児をするまた人なみに楽しむ時間がないと自己犠牲を意識しやすくさらに優しくできないので、
より気軽に託児できると良いまた子の発熱時に母の仕事早退ありき、というのは屈辱感というか不満が強く、
そうせずつむ病児保育があれば。

Q20. (小学生・中学生)、Q23. (高校若者) 結婚や子育てに関しては、さまざまな価値観や考え方が 있습니다。次のうち、あなたの考えに一番近いものはどれですか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①結婚も子育てもしたくない	25 7.0%	26 17.9%	16 12.9%	-	67 10.7%
②結婚はしたくないが、こどもは持ちたい	29 8.1%	3 2.1%	7 5.6%	-	39 6.2%
③結婚はしたいが、こどもは持ちたくない	12 3.4%	16 11.0%	17 13.7%	-	45 7.2%
④結婚してこどもを持ちたい	234 65.5%	83 57.2%	75 60.5%	-	392 62.6%
⑤答えたくない	57 16.0%	17 11.7%	9 7.3%	-	83 13.3%
n：回答者数	357	145	124	-	626

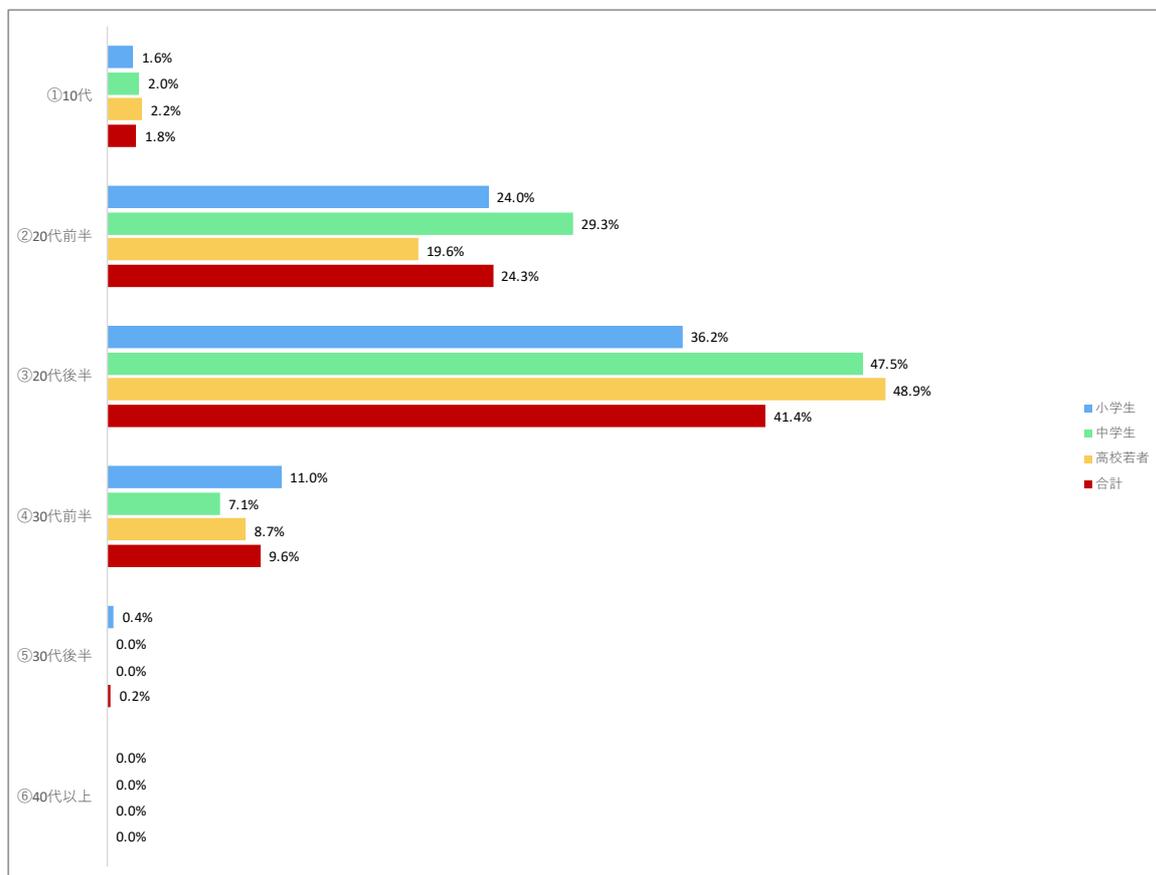


Q21. (小学生・中学生) 「Q20」で「結婚はしたいが、こどもは持ちたくない」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃に結婚したいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】

Q24. (高校若者) 「Q23」で「結婚はしたいが、こどもは持ちたくない」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃に結婚したいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①10代	4 1.6%	2 2.0%	2 2.2%	-	8 1.8%
②20代前半	59 24.0%	29 29.3%	18 19.6%	-	106 24.3%
③20代後半	89 36.2%	47 47.5%	45 48.9%	-	181 41.4%
④30代前半	27 11.0%	7 7.1%	8 8.7%	-	42 9.6%
⑤30代後半	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	-	1 0.2%
⑥40代以上	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	-	0 0.0%
n：回答者数	246	99	92	-	437



Q22. (小学生・中学生) 「Q20」で「結婚はしたくないが、こどもは持ちたい」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃にこどもと持ちたいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】

Q25. (高校若者) 「Q23」で「結婚はしたくないが、こどもは持ちたい」「結婚してこどもを持ちたい」を選んだ方にお聞きします。あなたは、何歳頃にこどもと持ちたいと考えていますか。【ひとつだけ選んでください】

上段：回答数、下段：構成比

小学生・中学生・高校若者への設問	小学生	中学生	高校若者	保護者	合計
①10代	2 0.8%	3 3.5%	0 0.0%	-	5 1.2%
②20代前半	34 12.9%	8 9.3%	6 7.3%	-	48 11.1%
③20代後半	76 28.9%	32 37.2%	33 40.2%	-	141 32.7%
④30代前半	47 17.9%	11 12.8%	9 11.0%	-	67 15.5%
⑤30代後半	4 1.5%	3 3.5%	1 1.2%	-	8 1.9%
⑥40代以上	1 0.4%	0 0.0%	0 0.0%	-	1 0.2%
n：回答者数	263	86	82	-	431

